

2019

ブライダル科 シラバス



学校法人京都中央学院

YIC京都ビューティ専門学校

シラバスとは

シラバスとは講義概要であり授業全体の計画書のことです。授業の目標・内容・参考図書・成績評価の方法などが記され、皆さんが授業内や授業外で学修を行うための指針を示すものです。

教員は、この指針に従って授業を行うこととなります。したがってシラバスは授業計画を学生と教員との間で共有する、「契約書」に近い位置づけのものです。シラバスに記載された目標を達成するために、教員は授業を通して学生である皆さんに知識と技術を習得させる義務を負います。逆に皆さんは授業に出席する義務を負うこととなります。

また広い意味では、本校が地域社会に対して本校の教育の質を担保するものでもあります。

実際に授業が行われるにあたって、学生や教員があらかじめ準備したり、従うべき事項等を共有する文書となります。授業で行われる内容があらかじめ記載されていますので、学生は授業に臨む際に前もって準備を行うことができますし、記載されている評価方法に向けての学修などを行うこともできます。

シラバスを作成する過程で、教員が自らの行う授業の内容、評価方法などの具体的構造を見直すことができ、自分の授業を見直す良い機会となります。

皆さんは、このシラバスを活用して、悔いのない学生生活を送っていただくようお願いします。

別表2

ブライダル科 教育課程

区分	履修科目名	1年		2年		合計			
		単位	時間	単位	時間	単位	時間		
必須科目	ブライダル分野	講義	ブライダルコスチュームⅠ	1	30			1	30
			ブライダルコスチュームⅡ	1	30			1	30
			ブライダル概論	1	30			1	30
			ブライダル企業研究	1	30			1	30
			BIA検定Ⅰ	1	30			1	30
			BIA検定Ⅱ	1	30			1	30
			BIA検定Ⅲ			1	30	1	30
			BIA検定Ⅳ			1	30	1	30
			ABC検定Ⅰ	1	30			1	30
			ABC検定Ⅱ			1	30	1	30
	実習	イベントプロデュースⅠ	4	120			4	120	
		イベントプロデュースⅡ			4	120	4	120	
		レストランサービス			1	30	1	30	
		フラワーコーディネイトⅠ	1	30			1	30	
		ブライダルセレモニー実習	1	30			1	30	
		ブライダルプランニング実習	1	30			1	30	
		インターンシップⅠ	2	60			2	60	
		インターンシップⅡ	2	60			2	60	
	ビジネス分野	講義	ビジネススキルアップⅠ	1	30			1	30
			ビジネススキルアップⅡ			1	30	1	30
			ビジネススキルアップⅢ	1	30			1	30
			ビジネススキルアップⅣ			1	30	1	30
			サービス接遇Ⅰ	1	30			1	30
			サービス接遇Ⅱ	1	30			1	30
			プレゼンテーション・ディベート学Ⅰ	1	30			1	30
			プレゼンテーション・ディベート学Ⅱ			1	30	1	30
			セールスプロモーション			1	30	1	30
			実習	基本IT技術Ⅰ	1	30			1
	基本IT技術Ⅱ	1		30			1	30	
	トータルビューティ分野	講義	トータルビューティ基礎学Ⅰ	1	30			1	30
			色彩学	1	30			1	30
		実習	ブライズメイクヘア			1	30	1	30
着付け・作法			2	60			2	60	
メイクアップ基礎			2	60			2	60	
ネイル基礎					3	90	3	90	
ヘアアレンジ	1	30			1	30			
(必須)		32	960	16	480	48	1,440		
選択科目	ビジネス分野	講義	ビジネス基礎学	1	30			1	30
			現代ホテル理論	1	30			1	30
			マナープロトコール			1	30	1	30
			ビジネス電話応対			1	30	1	30
			ブライダルサロン	2	60			2	60
			サロン管理実習			2	60	2	60
			キャリアデザイン	1	30			1	30
			メイクセラピー	2	60			2	60
	ブライダル分野	講義 実習 研修	ブライダルアロマ			1	30	1	30
			ブライダル映像基礎			1	30	1	30
			イラスト・デッサン			1	30	1	30
			フラワーコーディネイトⅡ			1	30	1	30
						1	30	1	30
	選択科目計(選択)		7	210	9	270	16	480	
	総計(必須+選択)		39	1170	25	750	64	1,920	

※卒業の要件: 必須科目 48単位(1,440時間)以上 および選択科目16単位(480時間)単位以上 計64単位(1,920時間)以上の履修

※単位: 90分 x 15週の 座学(授業) または 実習をもって1単位とする。ただし校外実習などこれによりがたい場合は別途決定する

※科目履修(単位)認定の要件: 80%以上の出席 および 期末試験 60点以上

科目名	ブライダルコスチューム I		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義		対象学生	1年次	開設期	半期		
区分	必須		開設時期		教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	本授業では、コスチュームの美しい着せ付け(フィッティング)の技術を講義と実習で学び、ファンデーションやパニエの機能を利用し、花嫁の体型に合わせたアドバイスが出来るまでを目標とする。							
授業の一般目標	①ファンデーションやパニエの機能を理解する。②ドレスの着せ方を学び、モデルにフィッティングができる。③ドレスメンテナンスや、扱い方を知る。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	ドレス着付けやドレス小物の機能を説明できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	ドレスを美しく着せるためのパニエやファンデーションを使用することが理解できる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	ドレス着付けに関して関心を広め、顧客に合ったアドバイスができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	ドレスやドレス小物に関して適切な取り扱いが出来る							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	男性の洋装	メンズフォーマルのサイズ展開と採寸						
第2回	ウエディングドレス	主なシルエット・構造・スリーブ						
第3回	ウエディングドレス・小物	ドレスのサイズ展開と採寸・小物の合わせ方						
第4回	ウエディングドレスのスタイリング	素材やヘッドドレスなどのマッチングについても学習する				確認問題		
第5回	新婦の和装・種類	和装・小物の名称を覚える						
第6回	新婦の和装・種類	刺繍や織りなどの名称を理解する。				確認問題		
第7回	ドレスの扱い方	ドレスをお客様に着せるマナーなど						
第8回	パール・パニエの扱い方 実習	パール・パニエの扱い方や種類の習得						
第9回	和装のたたみ方	和装の扱い						
第10回	小物の扱い方	小物の扱い						
第11回	花嫁様のアテンド方法	介添えの基礎						
第12回	衣装の補正方法							
第13回	衣装コーディネート	新郎新婦の衣装のバランスなどを考える						
第14回	衣装コーディネート	新郎新婦の衣装のバランスなどを考える						
第15回	参列者様の衣装の種類	留めそで・モーニングのきまりなど						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	○	○	○	○			70%	S(4):90点以上
小テスト								A(3):80点以上
宿題授業外レポート								B(2):70点以上
授業態度			○	○			30%	C(1):60点以上
発表・作品								D:59点未満 未修得
演習								
出席			○					
担当教員				実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/			

科目名	ブライダルコスチュームⅡ	単位数	1	科目コード				
授業形態	講義	対象学生	1年次	開設期	半期			
区分	必須	開設時期		教員実務経験対象				
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	コスチューム検定の対策授業。主に衣装のTPO、衣装の名称、素材の名称を理解し、実際のスタイリストになった際に顧客にコーディネートを提案する事が出来る。							
授業の一般目標	衣装全般の名称、TPO、素材を理解する。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	ドレス着付けやドレス小物の機能を説明できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	ドレスを美しく着せるためのパニエやファンデーションを使用することが理解できる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	ドレス着付けに関して関心を広め、顧客に合ったアドバイスができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	ドレスやドレス小物に関して適切な取り扱いが出来る							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し・・・								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容			備 考			
第1回	ドレススタイリストの仕事	実際の仕事内容など						
第2回	和装の絵柄など	新婦の和装について学ぶ・白無垢・色打掛						
第3回	和装のきまりなど	新郎・新婦の和装の歴史やきまり						
第4回	ドレスの袖・ラインなど名称	袖やラインなどの語句を理解し、意味も知る						
第5回	レースの種類・ドレス生地について	レースの生地や衣装の生地について						
第6回	似合うドレスのスタイル	体型とドレスの関係						
第7回	衣装室の歴史や現在の状況など	衣装室の変遷や現在ドレスショップが抱える課題など						
第8回	ブライダル市場	過去スタイリスト検定から出題されたブライダル概要						
第9回	ブライダル市場	過去スタイリスト検定から出題されたブライダル概要						
第10回	ブライダル市場	過去スタイリスト検定から出題されたブライダル概要						
第11回	スタイリスト検定過去問	過去問題と対策授業						
第12回	スタイリスト検定過去問	過去問題と対策授業						
第13回	スタイリスト検定過去問	過去問題と対策授業						
第14回	スタイリスト検定答え合わせ	検定の振り返り						
第15回	スタイリスト検定最終振り返り	期末試験						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員				実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/			

科目名	ブライダル概論		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義		対象学生	1年次	開設期	半期		
区分	必須		開設時期	前期	教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格、検定等)	現在の日本におけるブライダル事情の概要を知り、ブライダルとは何か?どんな意味・意義があるのか?そこで従事する人間としてのモラルなどを学ぶ。一般知識としてブライダルに関する基本的な事柄によって理解している事の目安としてプランナー検定3級問題の合格。ブライダル関連に興味を持ち意欲的に行動できるようになる。サービスマナーについても学習し日常生活の中で身に付けるように心がける。							
授業の一般目標	社会人としての一般常識として冠婚葬祭の知識を身につけ、人生の通過儀礼を滞りなく実行でき、業界で働くためのモラルを身に付ける。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	冠婚葬祭とは何かについて説明できる。2. ブライダル業界の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べるができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	ブライダル業界に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中で、接客サービス業に携わるサービスマナーを身に付ける事ができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し・・・								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	ブライダルとは	ブライダルの歴史・現状など						
第2回	ホテルウエディング	ホテルで行われるウエディングについて						
第3回	ゲストハウスウエディング	ゲストハウスとは?そのウエディングの特徴						
第4回	挙式の種類	挙式の様々なスタイル						
第5回	結婚式の用語	六輝、忌み言葉、通常使用される業界での用語						
第6回	ウエディングプランナーとは	プランナーの担う具体的な仕事						
第7回	ウエディングの費用や支払いについてのきまり	費用の歴史の変遷、今後の見通し、支払いのきまりなど						
第8回	ウエディングのコンプライアンス	ウエディング成約における規約について、申込金について						
第9回	現在ウエディング業界を取り巻く問題	BGM著作権問題、成約時トラブル、見積もり額の不透明性						
第10回	今後のウエディング業界の姿とは	今後ウエディングがどの様になっていくのか						
第11回	結婚式の人数の変遷と今後の見通し	結婚式のなし婚を考え売り上げにかかわる人数について考察						
第12回	ブライダル従事者として大切な心得	人生で1回のセレモニーを担う責任感と正しい倫理観						
第13回	ブライダル従事者としてのマナーと常識	お客様との会話や対応などで気をつけるべきマナー						
第14回	ブライダルをとりまく、様々なビジネス	付帯ビジネス、パートナービジネスを知る						
第15回	期末試験	1から14までの回で学んだ内容から						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員			実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/				

科目名	ブライダル企業研究		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義	対象学生	1年次	開設期	半期			
区分	必須	開設時期		教員実務経験対象				
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	婚礼会場はどのような場所にあるのか、そこではどのような仕事があるのか、関連業種などについて調べる。7月のインターンシップリテラシーにも取り組む。ブライダル業界をプレ・当日、新生活部分に分けて様々な角度から検討し、理解を深める。							
授業の一般目標	ブライダル業界を調べる事によって業界内の様々な職種を知る。また、そこで求められる人物像、知識などを各自が明確にイメージすることによって学習意欲を高める。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)	就活ナビノート							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. ブライダル業界とは何かについて説明できる。2. ブライダル業界の各領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	1. 授業で取り上げたブライダル関連企業について自分の意見を論理的に述べるができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	1. ブライダルに関する関心を広げ、業界の問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点								
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容			備 考			
第1回	ガイダンス	ブライダル業界の関連企業はどのようなものがあるか理解する						
第2回	ブライダル業界企業の特徴①	上場、未上場、親会社が他業種などブライダル企業の現在を知る						
第3回	ブライダル企業の特徴②	グループワークでブライダル企業を調べる						
第4回	ブライダル業界調査 発表	前回調べた企業を発表する						
第5回	企業研究 株式会社プラス	企業理念、社長について、沿革、事業展開、企業のカルチャー						
第6回	企業研究 株式会社ブランドゥシー	企業理念、社長について、沿革、事業展開、企業のカルチャー						
第7回	企業研究 株式会社ディアーズブレイン	企業理念、社長について、沿革、事業展開、企業のカルチャー						
第8回	企業研究 株式会社スタイルズ	企業理念、社長について、沿革、事業展開、企業のカルチャー						
第9回	企業研究 株式会社I K K	企業理念、社長について、沿革、事業展開、企業のカルチャー						
第10回	企業研究 株式会社ノバレーゼ	企業理念、社長について、沿革、事業展開、企業のカルチャー						
第11回	インターンシップについて	インターンシップ先での働き方やマナーについて						
第12回	インターンシップについて	インターンシップ先での働き方やマナーについて						
第13回	インターンシップ先の企業研究	リーガ、祝言、キヨミズ など						
第14回	インターンシップ先の企業研究	オークラ他						
第15回	まとめとインターンに向けての心構え	これまでのまとめとその業界に求められる人物像などについて学ぶ インターンシップリテラシーの学習 お礼状準備						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○				10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	喜多村			実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/kitamura/			

科目名	BIA検定 I		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義		対象学生	1年次	開設期	半期		
区分	必須		開設時期		教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	BIA検定対策授業。アシスタントブライダルコーディネーター検定の対策だけでなく、ブライダル業界やブライダルの定義について理解する。							
授業の一般目標	ブライダルの歴史、欧米との違い、市場の現状と業界の歴史・動向を知る。ブライダル業界の動向や将来性を自ら説明できる。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. ブライダルの歴史、欧米と日本の違いについて説明できる。2. ブライダル業界の各領域の概要と課題を説明できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	1. 授業で取り上げたブライダル関連企業の将来性について自分の意見を論理的に述べるができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	1. ブライダルに関する関心を広げ、業界の問題意識を高めることができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	1. 日常生活の中でブライダルについて主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	オリエンテーション	検定の趣旨・特徴・受験の手続きなど案内						
第2回	Lesson 1 結婚とは 結婚の定義	結婚の法的意義、結婚の成立、婚姻の要件について理解する						
第3回	Lesson 1 結婚とは 結婚の定義	結婚に関する言葉とその定義、日本の結婚状況について理解する						
第4回	Lesson 1 結婚とは 日本の結婚式の歴史と文化	日本の結婚式の歴史について理解する						
第5回	Lesson 1 結婚とは 日本の結婚式の歴史と文化	様々な宗教と結婚式について理解する						
第6回	Lesson 1 結婚とは 日本の結婚式の歴史と文化	結婚に関する風習・いわれについて理解する						
第7回	Lesson 1 結婚とは 欧米の結婚式の歴史と文化	欧米の結婚式の歴史、キリスト教の結婚式、欧米の結婚式、その他宗教と結婚式について理解する						
第8回	Lesson 2 ブライダルビジネス ブライダル市場	ブライダル市場、市場規模、市場の推移について理解する						
第9回	Lesson 2 ブライダルビジネス ブライダル業種	ブライダル市場、様々なブライダル業種について理解する(ホテル・専門式場)						
第10回	Lesson 2 ブライダルビジネス ブライダル業種	様々なブライダル業種について理解する(ゲストハウス・レストラン・料亭・旅館・その他)						
第11回	Lesson 2 ブライダルビジネス ブライダル関連業種	ブライダル関連業種について学ぶ(婚活ビジネス・式場案内所・プロデュース会社、フリープランナー)						
第12回	Lesson 2 ブライダルビジネス ブライダル関連業種	ブライダル関連業種について学ぶ(ウェブサイト・旅行代理店・衣装)						
第13回	Lesson 2 ブライダルビジネス ブライダル関連業種	ブライダル関連業種について学ぶ(ジュエリー・ヘアメイク・フラワー・ギフト・情報誌)						
第14回	Lesson 2 ブライダルビジネス ブライダルエリア特性	ブライダルのエリア特性を理解する						
第15回	Lesson 2 ブライダルビジネス 集客システム	ブライダル業界の1年と集客について理解する						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員				実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/			

科目名	BIA検定 I		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義	対象学生	1年次	開設期	半期			
区分	必須	開設時期		教員実務経験対象				
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	BIA検定対策授業。アシスタントブライダルコーディネーター検定の対策だけでなく、ブライダル業界やブライダルの定義について理解する。							
授業の一般目標	ブライダルの歴史、欧米との違い、市場の現状と業界の歴史・動向を知る。ブライダル業界の動向や将来性を自ら説明できる。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. ブライダルの歴史、欧米と日本の違いについて説明できる。2. ブライダル業界の各領域の概要と課題を説明できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	1. 授業で取り上げたブライダル関連企業の将来性について自分の意見を論理的に述べるができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	1. ブライダルに関する関心を広げ、業界の問題意識を高めることができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	1. 日常生活の中でブライダルについて主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	Lesson 3 ブライダルの基礎	見合い・婚約・結婚記念品について理解する						
第2回	Lesson 3 ブライダルの基礎	結納・結婚式・婚約披露パーティー・両家顔合わせについて理解する						
第3回	Lesson 3 ブライダルの基礎 ブライダル準備	結婚までのスケジュール、日時の検討、会場の検討、挙式スタイルについて理解する						
第4回	Lesson 3 ブライダルの基礎 キリスト教式	カトリックとプロテスタントの違いを学ぶ						
第5回	Lesson 3 ブライダルの基礎 神前、人前、仏前	神前式の歴史・現状を理解する。式次第の一例を学ぶ						
第6回	Lesson 3 ブライダルの基礎 神前、人前、仏前	仏前式、人前式の違いを学び理解する						
第7回	Lesson 3 ブライダルの基礎	披露宴のスタイル、時間帯、進行について理解する						
第8回	Lesson 3 ブライダルの基礎	海外ウェディングのスタイルについて理解する。二次会や1・5次会について理解する						
第9回	Lesson 4 コーディネーター業務	コーディネーター業務の内容や立ち振る舞いを理解する						
第10回	Lesson 4 コーディネーター業務	新規業務の流れを理解する						
第11回	Lesson 4 コーディネーター業務	ブライダルセールスの特徴とホスピタリティ営業を理解する						
第12回	Lesson 4 コーディネーター業務	プランニングとプレゼンテーション手法を理解する						
第13回	Lesson 4 コーディネーター業務	新規アフターフォローの方法を理解する						
第14回	Lesson 4 コーディネーター業務	成約業務の内容、手順、クレーム処理を理解する						
第15回	Lesson 4 コーディネーター業務	ペーパーワークについて理解し、作成ができる						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員				実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/			

科目名	ABC検定 I		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義		対象学生	1年次	開設期	半期		
区分	必須		開設時期		教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	全米ブライダルプランナー検定を使用しブライダルの基本的な業務に必要な知識の習得を行う。日本、海外のブライダルの基礎を網羅した学習内容。日本においては関連業種、海外においては宗教間の違いなども含め知識を深める。							
授業の一般目標	ブライダルの業界に必要とされる一般的な知識を習得し、配席表・進行表を含む基本的なプランニングシートが作成できるようになる。1月に実施される全米ブライダルプランナー検定の2級合格を目指す。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. ブライダルの歴史、欧米と日本の違いについて説明できる。2. ブライダル業界の各領域の概要と課題を説明できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	1. 授業で取り上げたブライダル関連企業の将来性について自分の意見を論理的に述べるができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	1. ブライダルに関する関心を広げ、業界の問題意識を高めることができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	1. 日常生活の中でブライダルについて主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	欧米編	アメリカンウエディングとは宗教・人種などの特徴についてブライダルパーティの人々の名称について						
第2回		第4章本番 (聖職者・リハーサルウエディングについて)						
第3回		3つの宗教について 第5章 本番レセプションについて						
第4回		第7章 宗教ウエディングについて 基本的な考え方とききたり						
第5回		宗教的な挙式 プロテスタント・ローマカトリック・ユダヤ・非宗教						
第6回		第3章・第6章 準備とコンサルタントの役割						
第7回		英語での名称を覚える。ディストネーションウエディングやダンス・食事について・総復習40分						
第8回	日本編	総復習40分 トレンドの確認 過去問課題に関する質疑応答						
第9回		六輝・熨斗などしきたりについて/日本のさまざまな仕事について						
第10回	総まとめ	日本・欧米共に宗教的部分を中心にまとめ学習をする						
第11回		トレンドの確認・業務(アメリカン)などを中心にまとめ学習をする						
第12回	直前集中授業	冬休み課題での問題解答・解説。総復習を実施し知識の定着を図る						
第13回								
第14回								
第15回	直前対策授業	ピンスポットで重点的に復習し検定試験に備える						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員				実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/			

科目名	イベントプロデュースⅠ		単位数	4	科目コード			
授業形態	実習		対象学生	1年次	開設期	半期		
区分	必須		開設時期		教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	ブライダル業務全般を幅広く学び、特に構内で実施するリアルウェディングのカップルを募るためのSNS発信(集客業務)を実際に行う。リアルウェディングにつなげ、より実際に近い婚礼業務を経験し、身に付ける							
授業の一般目標	婚礼現場で実際に行われている集客→新規→施工という一連の流れを学び、プランナーとしてのプロデュース力を身に付ける。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. ブライダル業務全般を説明できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	1. SNSでの集客方法について自分の意見を論理的に述べることができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	1. ブライダルに関する関心を広げ、業界の問題意識を高めることができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	1. 日常生活の中でブライダルについて主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	リアルウェディング又は模擬挙式について	リアルや模擬挙式向けスケジュール作成し、具体的準備を始め、リハーサルを繰り返す						
第2回	リアルウェディング又は模擬挙式について	リアルに向けスケジュール作成し、具体的準備を始め、リハーサルを繰り返す						
第3回	リアルウェディング又は模擬挙式について	リアルに向けスケジュール作成し、具体的準備を始め、リハーサルを繰り返す						
第4回	リアルウェディング又は模擬挙式について	リアルに向けスケジュール作成し、具体的準備を始め、リハーサルを繰り返す						
第5回	リアルウェディング又は模擬挙式について	リアルウェディング準備・スケジュール管理・買い出しなど						
第6回	リアルウェディング又は模擬挙式について	リハーサルを繰り返し行い、当日のアクシデントに備え、対策を考える						
第7回	リアルウェディング又は模擬挙式について	アワードに向け、ウェディングの振り返り						
第8回	リアルウェディング又は模擬挙式について	エントリシート作成						
第9回	リアルウェディング又は模擬挙式について	リアルウェディング準備・スケジュール管理・買い出しなど						
第10回	リアルウェディング又は模擬挙式について	リアルウェディング準備・スケジュール管理・買い出しなど						
第11回	リアルウェディング	6月のリアルウェディング準備・スケジュール管理・買い出しなど						
第12回	リアルウェディング総括	アワードに備え、プレゼンの練習。また、アワード観覧の際のポイントグループごとに考え研究を行う						
第13回	リアルウェディング総括	アワードに備え、プレゼンの練習。また、アワード観覧の際のポイントグループごとに考え研究を行う						
第14回	リアルウェディング総括	アワードに備え、プレゼンの練習。また、アワード観覧の際のポイントグループごとに考え研究を行う						
第15回	期末試験	リアルウェディングについての論文を作成し、提出						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	喜多村			実務経験紹介	https://www.vic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/kitamura/			

科目名	フラワーコーディネイトⅠ		単位数	1	科目コード			
授業形態	実習		対象学生	1年次	開設期	半期		
区分	必須		開設時期		教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	結婚式や披露宴を演出するために必要なカラーやフラワーの知識を理解する。フラワーアレンジメントの基本の実践と最新のテクニックを学び、表現を身に付ける。シーンやドレスに合ったブーケが提案できる。披露宴イメージにあったテーブル装飾が提案できる。							
授業の一般目標	花の種類、等基本的な知識の修得。ドレスや披露宴に合ったブーケの提案が出来る。アレンジの基本的な技術の習得。ブライダルフラワーコーディネーター検定(BFC)3級							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. ブライダルフラワー全般を説明できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	1. フラワーコーディネイトについて自分の意見を論理的に述べる事ができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	1. ブライダルに関する関心を広げ、業界の問題意識を高めることができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	1. 日常生活の中でフラワーについて主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する								
授業計画(授業単位)								
回	主 題		授 業 内 容			備 考		
第1回	卓上装花(テーブル花① ラウンド)		花の種類・花の水揚げ方法・材料・用具の種類・卓上装花制作実習					
第2回	ブーケ①ラウンド(チュールの作り方)		ブーケの種類・ブーケの花材・ドレスとブーケのバランス ブーケの用具・ブーケの制作実習					
第3回	ブートニア(リボンの作り方)		ブートニアの意味・ワイヤリング・テーピングの手法 ブートニアの制作実習					
第4回	ブライダルフラワー検定対策		フラワー検定3級対策			確認問題		
第5回	ヘアオーナメント		ヘアオーナメントの種類・花選び・ワイヤリング・テーピングの手法・ヘアオーナメントの制作実習					
第6回	ケーキ花(180度のデザイン)		ウェディングに必要な装花を学ぶ・ケーキと一体感のある フラワーアレンジメント実習			確認問題		
第7回	卓上装花(テーブル花② ホリゾンタル)		テーブル花の種類・卓上装花の制作実習					
第8回	ブーケ②(束ねるブーケ)		ブーケの種類・スタイル・制作方法・ブーケの制作実習					
第9回	メインテーブルのアレンジメント		ウェディングの装花の種類・デモンstrーション形式の実習					
第10回	フラワー検定3級対策		過去問題など					
第11回	ブーケ③キャスケード		アートフィッシャルフラワーのワイヤリング・テーピングの手法					
第12回	ブライダルフラワーコーディネーター検定3級対策		過去問題など					
第13回	ブライダルフラワーコーディネーター検定3級対策		過去問題など					
第14回	ブライダルフラワーコーディネーター検定3級対策		過去問題など					
第15回	ブライダルフラワーコーディネーター検定3級受験		ブライダルフラワーコーディネーター検定3級					
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員				実務経験紹介	https://www.vic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/			

科目名	ブライダルセレモニー実習	単位数	1	科目コード				
授業形態	実習	対象学生	1年次	開設期	半期			
区分	必須	開設時期		教員実務経験対象				
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	ブライダルセレモニーを学び、模擬挙式を行う事でより理解を深める。							
授業の一般目標	模擬挙式の実施							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. ブライダル業務全般を説明できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	1. 模擬挙式実施において必要な準備や手順がわかる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	1. ブライダルに関する関心を広げ、業界の問題意識を高めることができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	1. 日常生活の中でブライダルについて主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容			備 考			
第1回	ブライダルセレモニーの種類について	神前、仏前、キリスト、人前の挙式を知る						
第2回	挙式の流れ	神前、仏前のプログラム						
第3回	挙式の流れ	キリスト、人前のプログラム						
第4回	挙式から披露宴の流れ	結婚式1日の流れを覚える						
第5回	挙式アテンダーの仕事	身だしなみ、立ち居振る舞い、忌み言葉						
第6回	挙式での演出	サンドセレモニーやユニティキャンドルなど						
第7回	模擬挙式の準備	役割決定						
第8回	模擬挙式の準備	イメージボード作成						
第9回	模擬挙式の準備	イメージボード完成						
第10回	模擬挙式の準備	チャペル内の装飾や挙式内の演出を考える						
第11回	模擬挙式の準備	BGMの重要性						
第12回	模擬挙式の準備	照明の重要性						
第13回	模擬挙式の準備	マイクなどの音響設備の重要性						
第14回	トータルプロデュース	挙式の流れを組み立て、イメージを固める						
第15回	期末試験	期末						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	実務経験紹介			https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/				

科目名	ブライダルプランニング実習		単位数	1	科目コード			
授業形態	実習		対象学生	1年次	開設期	半期		
区分	必須		開設時期		教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	ブライダルプランニングを学び、模擬挙式を行う事でより理解を深める。							
授業の一般目標	模擬挙式の実施							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. ブライダル業務全般を説明できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	1. 模擬挙式実施において必要な準備や手順がわかる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	1. ブライダルに関する関心を広げ、業界の問題意識を高めることができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	1. 日常生活の中でブライダルについて主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	テーマウエディングとは？	テーマウエディングがなぜ今の業界の主流となったのか						
第2回	テーマウエディングの考え方	テーマウエディングが挙式、披露宴に及ぼす影響など						
第3回	お二人に対するヒアリングの技術	ヒアリングの技術に必要なこと。						
第4回	テーマからどの様なウエディングを創るのか	テーマを見つけ、それをどうウエディングに生かすのか						
第5回	テーマを見つける視点	インスタグラムから海外のウエディングの事例を研究						
第6回	お客様のニーズを読み取る手法	お客様が本当に言いたいこと、伝えたいことを見つけ出す方法						
第7回	披露宴の流れを知る	披露宴とはどのようなプログラムなのか						
第8回	新郎新婦のペルソナ設定からテーマを考え発表	新郎新婦のペルソナを決め、テーマを考える						
第9回	提案力を身につける	提案する方法にはどんな種類があるのかを知る						
第10回	言葉の使い方を知る	表現の仕方、クッション言葉、わかりやすい表現など						
第11回	模擬挙式リハーサル	模擬挙式に向けての買い出し、練習						
第12回	模擬挙式リハーサル	模擬挙式に向けての買い出し、練習						
第13回	模擬挙式リハーサル	模擬挙式に向けての買い出し、練習						
第14回	模擬挙式リハーサル	模擬挙式に向けての買い出し、練習						
第15回	期末試験	模擬挙式について論文						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員			実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/				

科目名	インターンシップ I		単位数	2	科目コード			
授業形態	実習		対象学生	1年次	開設期	半期		
区分	必須		開設時期	前期	教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	ブライダル業界研究で得た知識をもとにインターンシップ依頼、インターンシプリテラシーを学び、事前準備学習を行う。インターンシップを通じて得た経験を体験報告をレポートにまとめ、報告書を作成する。							
授業の一般目標	1、自らの専攻やキャリアに関連した就業体験によって高い職業意識を育成する 2、実社会に触れる事によって学習意欲を向上させる 3、人間性を高め、基本的な生活習慣を身に付ける							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. ブライダル業務全般を説明できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	1. 模擬挙式実施において必要な準備や手順がわかる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	1. ブライダルに関する関心を広げ、業界の問題意識を高めることができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	1. 日常生活の中でブライダルについて主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	実務研修の心構え	インターンシップの目的、参加の心構え、ビジネスマナー講習などを中心に、事前準備学習を行なう。						
第2回	実務研修の依頼	就職を希望する企業・サロンの調査法。インターンシップの依頼（電話・依頼文作成）、企業等とのマッチング、日程調整						
第3回	挨拶状・レポート作成	受け入れ企業の決定に基き必要書類などの作成を行いインターンシップを有意義なものにする						
第4回	実務研修	受け入れ事業所で就業体験（実習日誌）						
第5回								
第6回								
第7回								
第8回								
第9回								
第10回								
第11回								
第12回								
第13回								
第14回	インターンシップ報告会	インターンシップを通じて得た知見や経験を受講者全員で共有化することを目的に体験報告を行なう。それぞれが就業体験を通じて得たものを自己定着させる。また、体験報告をレポートにまとめ、インターンシップ報告書を作成する。						
第15回								
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	実務経験紹介		https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/					

科目名	インターンシップⅡ		単位数	2	科目コード			
授業形態	実習		対象学生	1年次	開設期	半期		
区分	必須		開設時期	前期	教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	ブライダル業界研究で得た知識をもとにインターンシップ依頼、インターンシップリテラシーを学び、事前準備学習を行う。インターンシップを通じて得た経験を体験報告をレポートにまとめ、報告書を作成する。							
授業の一般目標	1、自らの専攻やキャリアに関連した就業体験によって高い職業意識を育成する 2、実社会に触れる事によって学習意欲を向上させる 3、人間性を高め、基本的な生活習慣を身に付ける							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. ブライダル業務全般を説明できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	1. 模擬挙式実施において必要な準備や手順がわかる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	1. ブライダルに関する関心を広げ、業界の問題意識を高めることができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	1. 日常生活の中でブライダルについて主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	実務研修の心構え	インターンシップの目的、参加の心構え、ビジネスマナー講習などを中心に、事前準備学習を行なう。						
第2回	実務研修の依頼	就職を希望する企業・サロンの調査法。インターンシップの依頼(電話・依頼文作成)、企業等とのマッチング、日程調整						
第3回	挨拶状・レポート作成	受け入れ企業の決定に基き必要書類などの作成を行いインターンシップを有意義なものにする						
第4回	実務研修	受入れ事業所で就業体験(実習日誌)						
第5回								
第6回								
第7回								
第8回								
第9回								
第10回								
第11回								
第12回								
第13回								
第14回	インターンシップ報告会	インターンシップを通じて得た知見や経験を受講者全員で共有化することを目的に体験報告を行なう。それぞれが就業体験を通じて得たものを自己定着させる。また、体験報告をレポートにまとめ、インターンシップ報告書を作成する。						
第15回								
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員			実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/				

科目名	ビジネススキルアップ I		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義	対象学生	1年次	開設期	半期			
区分	必須	開設時期		教員実務経験対象				
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	会社とはどのような組織か、そこで行われている仕事とはどのような内容かを学ぶ。							
授業の一般目標	秘書検定3級の合格。ビジネスパーソンとしての最低限のマナーを身に付ける。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)	秘書検定実問題集3級							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	秘書検定3級合格の知識を習得							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	秘書業務を学んだうえで社会人としてどのように活用できるか判断できる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	ビジネススキルを理解した上で模擬挙式に活用する事が出来る							
<input type="checkbox"/> 態度の観点								
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	検定の概要							
第2回	秘書としての在り方	秘書業務の心構え・身だしなみ・第一印象						
第3回	秘書としての在り方	心遣い、守秘義務、社内連絡、社外連絡						
第4回	仕事の進め方	定型業務の仕上げ方						
第5回	効率的、合理的な仕事	秘書業務をスムーズに行う						
第6回	報告、連絡、相談の在り方	ほうれんそうとその使い方のルール						
第7回	慣用句、ことわざ、物の数え方	ビジネス用語を覚え、使えるようにする						
第8回	ビジネス用語	ビジネス用語を覚え、使えるようにする						
第9回	ファイリングの手法	ファイリングの種類などを知る						
第10回	来客への対応方法	来客の案内、上座、下座など						
第11回	電話応対と上司不在時の対応	秘書として不在時の対応、代理の仕事など						
第12回	社内文書、社外文書	社内文書の書き方、取り扱い方						
第13回	過去問題	3級過去問題						
第14回	過去問題	3級過去問題						
第15回	期末試験	3級過去問題						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員			実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/				

科目名	ビジネススキルアップⅢ		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義	対象学生	1年次	開設期	半期			
区分	必須	開設時期	前期	教員実務経験対象				
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	ブライダル業界で必要な美しい手書き文字を身に付け、お客様への手紙、商談のメモ等、字で信頼していただけるように取り組む。							
授業の一般目標	硬筆書写検定4級受験							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	1. 授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	1. 美容に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	1. 日常生活の中で美容について主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	オリエンテーション	美しい文字を書く基本を学ぶ。用具、テキスト、ドリルの説明。学習計画の理解						
第2回	硬筆ドリル・理論	文書・漢字の基本的な決まりを理解する						
第3回	硬筆ドリル・理論	文字のはね、はらい、角度を理解する						
第4回	硬筆ドリル・理論	漢字の基本文字を練習						
第5回	硬筆ドリル・理論	漢字の基本文字を練習						
第6回	硬筆ドリル・理論	漢字の基本文字を練習						
第7回	硬筆ドリル・理論	漢字の基本文字を練習						
第8回	硬筆ドリル・理論	漢字の基本文字を練習						
第9回	硬筆ドリル・理論	漢字の基本文字を練習						
第10回	硬筆ドリル・理論	漢字の基本文字を練習						
第11回	硬筆ドリル・理論	漢字の基本文字を練習						
第12回	硬筆ドリル・理論	漢字の基本文字を練習						
第13回	硬筆ドリル・理論	漢字の基本文字を練習						
第14回	過去問題実施 模擬試験の実施①	硬筆書写検定4級受験を想定し模試を実施						
第15回	過去問題実施 模擬試験の実施②	硬筆書写検定4級受験を想定し模試を実施						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員			実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/				

科目名	サービス接遇Ⅰ	単位数	1	科目コード				
授業形態	講義	対象学生	1年次	開設期	半期			
区分	必須	開設時期		教員実務経験対象				
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	ブライダル業界で働くにあたり必要な心構えと接客力を身につける、サービス接遇を通し、理解を深める。							
授業の一般目標	ブライダル業界で働く楽しさを新郎新婦のコーディネートなどから感じ取り、それをサポートする接客力を習得する。就職活動や社会人にスムーズになれる言動を身につける。サービス接遇3級、2級合格目標とする。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	1. 授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	1. 接遇に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	1. 日常生活の中で接遇について主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用実践に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容			備 考			
第1回	サービス接遇検定2級、準1級の趣旨	オリエンテーションと検定要項の確認						
第2回	おもてなしの理論を学ぶ	3級の要項を確認し、理論実技の出題範囲を把握する						
第3回	おもてなしの理論を学ぶ	気遣いと感じの良い接客						
第4回	おもてなしの理論を学ぶ	相手の気持ちに寄り添う話し方、接客法						
第5回	おもてなしの理論を学ぶ	熨斗のきまり、長寿の祝い、物の数え方の呼び名など						
第6回	おもてなしの理論を学ぶ	ビジネス専門用語の理解						
第7回	おもてなしの実技を学ぶ	愛想、愛嬌、大きな声で接客ロープレを行う						
第8回	おもてなしの実技を学ぶ	野菜の販売をアドリブを用いながら行う(準1級対策)						
第9回	おもてなしの実技を学ぶ	感じの良い挨拶、受け答え、あいづちの基礎						
第10回	おもてなしの実技を学ぶ	3級合格のための模擬試験						
第11回	おもてなしの実技を学ぶ	3級合格のための模擬試験						
第12回	おもてなしの実技を学ぶ	3級合格のための模擬試験						
第13回	模擬試験	検定試験直前対策、3級、合格のポイントを押さえる						
第14回	サービス接遇検定答え合わせ	検定の答え合わせ						
第15回	サービス接遇検定2級要項を説明	準1級の要項を確認し、最終練習を行う						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	実務経験紹介			https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/				

科目名	サービス接遇Ⅱ	単位数	1	科目コード				
授業形態	講義	対象学生	1年次	開設期	半期			
区分	必須	開設時期		教員実務経験対象				
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	ブライダル業界で働くにあたり必要な心構えと接客力を身につける、サービス接遇を通し、理解を深める。							
授業の一般目標	ブライダル業界で働く楽しさを新郎新婦のコーディネーターなどから感じ取り、それをサポートする接客力を習得する。就職活動や社会人にスムーズになれる言動を身につける。サービス接遇3級、2級合格目標とする。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	1. 授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べるができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	1. 接遇に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	1. 日常生活の中で接遇について主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用実践に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容			備 考			
第1回	サービス接遇検定とは？	オリエンテーションと検定要項の確認						
第2回	おもてなしの理論を学ぶ	3級振り返り						
第3回	おもてなしの理論を学ぶ	気遣い						
第4回	おもてなしの理論を学ぶ	相手の気持ちに寄り添う話し方、接客法						
第5回	おもてなしの理論を学ぶ	熨斗のきまり、長寿の祝い、物の数え方の呼び名など						
第6回	おもてなしの理論を学ぶ	準1級ロープレ実習						
第7回	おもてなしの実技を学ぶ	準1級ロープレ実習						
第8回	おもてなしの実技を学ぶ	準1級ロープレ実習						
第9回	おもてなしの実技を学ぶ	感じの良い挨拶、受け答え、あいづちの基礎						
第10回	おもてなしの実技を学ぶ	2級合格のための模擬試験						
第11回	おもてなしの実技を学ぶ	2級合格のための模擬試験						
第12回	おもてなしの実技を学ぶ	2級合格のための模擬試験						
第13回	模擬試験	検定試験直前対策、2級合格のポイントを押さえる						
第14回	サービス接遇検定答え合わせ	準1級ロープレ実技						
第15回		筆記						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	実務経験紹介			https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/				

科目名	プレゼンテーション・ディベート学 I		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義	対象学生	1年次	開設期	半期			
区分	必須	開設時期		教員実務経験対象				
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	プレゼンテーションを行なうために必要な基本的な事柄を学ぶ。プレゼンテーションの意義・目的、内容、進め方、ツールの活用など、基礎を学ぶと同時に、話し方などの口頭表現、身体表現を中心とした演習を行なう。							
授業の一般目標	プレゼンテーション能力の養成・向上を目指して、基本的な知識を修得し、さまざまな場面で自分の考えをしっかりと相手に伝える積極的な意思表示ができるようになる。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	1. 授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	1. 接遇に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	1. 日常生活の中で接遇について主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用実践に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	プレゼンテーションとは	プレゼンテーションの種類と定義について						
第2回	コミュニケーションとプレゼンテーション	コミュニケーションとプレゼンテーションの違いについて						
第3回	プレゼンテーションの目的	紹介のプレゼンテーション						
第4回	プレゼンテーション準備と流れ 1	聞き手の分析や目的の明確化						
第5回	プレゼンテーション準備と流れ 2	プラン作成やツールについて						
第6回	聴衆に好感を持たれる話し方の基本	聴衆に好感を持たれる話し方の基本を学ぶ						
第7回	パーバル表現	聴衆に好感を持たれる態度、演出法						
第8回	ノンパーバル表現	聴衆に好感を持たれる態度、演出法						
第9回	身近なプレゼンテーション	スピーチ・フリートーク						
第10回	ディベート理論	インタビューをしてみよう						
第11回	ディベート基礎	会議と司会をしてみよう						
第12回	ディベート基礎	学校生活について話してみよう						
第13回	ディベート演習	グループワーク						
第14回	発表に向けてのリハーサル							
第15回	プレゼンテーション発表と振り返り							
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員				実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/			

科目名	基本IT技術 I	単位数	1	科目コード				
授業形態	実習	対象学生	1年次	開設期	半期			
区分	必須	開設時期		教員実務経験対象				
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	企業においてパソコン事務処理は必須。授業内ではワードにてチラシ(案内)が作成できる。2年で習うコンピューター映像の授業にスムーズに入ってプライダル業界においてセンスのある映像加工が出来るようになる。							
授業の一般目標	ワードにて写真やイラストを使用したA4リーフレットが作成できる。パワーポイントの作成方法を理解し、シートの作成ができる。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	1. 授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	1. 接遇に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	1. 日常生活の中で接遇について主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用実践に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容			備 考			
第1回	パソコンルームの使用法とWord基礎	<ul style="list-style-type: none"> パソコンルームの使用上の注意事項について 自己紹介 キータイピング (パソコンレベルチェック) 						
第2回	Word基礎	<ul style="list-style-type: none"> 課題を与えて、指定時間内にキータイピングする 課題を与えて、ビジネス文書(罫線活用)を作成する 印刷設定を理解する 						
第3回	Word基礎	<ul style="list-style-type: none"> 課題を与えて、指定時間内にキータイピングする 課題を与えて、ビジネス文書(イラスト、ワードアート挿入)を作成する 						
第4回	Word基礎	<ul style="list-style-type: none"> 課題を与えて、ビジネス文書(罫線、イラスト、ワードアート挿入)を45分間で作成できるようにする 						
第5回	Word基礎	<ul style="list-style-type: none"> 課題を与えて、ビジネス文書(罫線、イラスト、ワードアート挿入)を45分間で作成できるようにする 						
第6回	Word基礎	<ul style="list-style-type: none"> 課題を与えて、ビジネス文書(罫線、イラスト、ワードアート挿入)を45分間で作成できるようにする 						
第7回	Word応用	<ul style="list-style-type: none"> 広告デザインのレイアウトについて理解し、作成する 						
第8回	Word応用	<ul style="list-style-type: none"> 課題を与えて、広告デザインを練習する 簡単な名刺の作成方法を理解し、作成する 						
第9回	Word応用	<ul style="list-style-type: none"> 名刺の作品を作成する 簡単なPOPやチラシの作成方法を理解する 						
第10回	Word応用	<ul style="list-style-type: none"> 簡単なPOPやチラシ作成の練習をする 						
第11回	Word応用	<ul style="list-style-type: none"> 課題を与えて、A4リーフレットを作成する 						
第12回	Word応用	<ul style="list-style-type: none"> 課題を与えて、A4リーフレットを作成、完成させる 						
第13回	PowerPoint基礎	<ul style="list-style-type: none"> 操作方法を理解する プレゼンテーション技法を理解する 						
第14回	PowerPoint応用	<ul style="list-style-type: none"> 簡単な課題を与えて、5枚程度のシートを作成する 						
第15回	PowerPoint応用	<ul style="list-style-type: none"> 簡単な課題を与えて、5枚程度のシートを作成し、完成させる 						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	実務経験紹介			https://www.vic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/				

科目名	基本IT技術Ⅱ		単位数	1	科目コード			
授業形態	実習		対象学生	1年次	開設期	半期		
区分	必須		開設時期		教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	企業においてパソコン事務処理は必須である。授業内ではエクセルを使用して基本的な実務書類が作成できる。							
授業の一般目標	パワーポイントを使用してプレゼンを行う事が出来る。事務処理(顧客データ管理、表作成、至急所作成、グラフ管理)を滞りなく行えるようになる。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)	九州文化出版「CS技能評価試験表計算部門3級対策練習問題集」							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	1. 授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	1. 接遇に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	1. 日常生活の中で接遇について主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用実践に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	PowerPoint応用	・課題を与えて、8枚程度のシートを作成する						
第2回	PowerPoint応用	・課題を与えて、8枚程度のシートを作成する						
第3回	PowerPoint応用	・課題を与えて、8枚程度のシートを作成し、完成させる						
第4回	Excel基礎	・表計算で文字・数字入力、セルの書式設定(フォント、配置、表示)、セル、行・列の操作を理解する						
第5回	Excel基礎	・計算式(四則演算、相対参照、絶対参照)、表の作成、検索、置換、オートフィルタ、並べ替え、印刷設定を理解する						
第6回	Excel基礎	・計算式(四則演算、相対参照、絶対参照)、表の作成、検索、置換、オートフィルタ、並べ替え、印刷設定を理解する						
第7回	Excel基礎	表計算で関数(SUM、AVERAGE、オートSUM)を理解する						
第8回	Excel基礎	表計算で関数(COUNT、COUNTA、TODAY、NOW、ROUND)を理解する						
第9回	Excel基礎	・表計算で関数(IF)を理解する						
第10回	Excel基礎	・表計算で関数(VLOOKUP)を理解する ・見積書や請求書が作成できる						
第11回	Excel基礎	・グラフの作り方を理解する						
第12回	Excel基礎	・グラフの作り方を理解する						
第13回	Excel基礎	・課題を与えて、表やグラフを完成させる						
第14回	Excel基礎	・課題を与えて、表やグラフを完成させる						
第15回	Excel基礎	・課題を与えて、表やグラフを完成させる						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員				実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/			

科目名	トータルビューティ基礎学 I		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義	対象学生	1年次	開設期	半期			
区分	必須	開設時期	前期	教員実務経験対象				
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	ブライダルにおける美容の基礎知識を身に付ける。							
授業の一般目標	人体の構造・皮膚科学・公衆衛生・化粧品化学の知識を身に付ける。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	1. 授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	1. 接遇に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	1. 日常生活の中で接遇について主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用実践に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	皮膚の構造	皮膚の構造について						
第2回	皮膚の構造	皮膚の構造について						
第3回	皮膚の構造	皮膚の構造について						
第4回	肌と老化の関係	肌と老化から生まれるトラブルについて						
第5回	肌と老化の関係	肌と老化から生まれるトラブルについて						
第6回	肌と老化の関係	肌と老化から生まれるトラブルについて						
第7回	肌と老化の関係	肌と老化から生まれるトラブルについて						
第8回	毛髪の構造	毛髪の構造について						
第9回	毛髪の構造	毛髪の構造について						
第10回	化粧品化学	化粧品化学の基礎知識について						
第11回	化粧品化学	化粧品化学の基礎知識について						
第12回	公衆衛生	美容に必要な公衆衛生の知識について						
第13回	公衆衛生	美容に必要な公衆衛生の知識について						
第14回	まとめ	まとめ、復習						
第15回	まとめ	まとめ、復習						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員			実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/				

科目名	色彩学		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義		対象学生	1年次	開設期	半期		
区分	必須		開設時期	後期	教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	色は生活の様々な分野にかかわっている。色彩に関する基本的なことを学習し人の心理面にどのような働きかけをすりのかを知り効果的に使用していく。色の分類・効果・演出と体系的に学習していく。							
授業の一般目標	テキストやカラーチャートなどを使用して色彩の分類・効果的な選択ができるようになる。パーソナルカラー分析を行い目安としてパーソナルカラー検定3級を受験する。さらにプライダルにおいて会場やテーブル・衣裳などの選択の選択の感性を磨く							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)	パーソナルカラー検定公式テキスト							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	1. 授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	1. 接遇に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	1. 日常生活の中で接遇について主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用実践に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	色彩学とは	色彩学を学ぶ意義について						
第2回	四季の自然を表わす色	春／夏／秋／冬に関わる色について						
第3回	日本の色の歴史	特徴的な伝統色						
第4回	色と生活	周りを取り巻く様々な色、衣食住						
第5回	色の種類	赤・橙・黄・緑・青・紫・白黒・グレー系統						
第6回	色の仕組み	物体色と光源色、無彩色と有彩色						
第7回	CUS表色系	カラーアンダートーンシステム						
第8回	色の三属性と対比現象	明度・彩度・色相						
第9回	色の感情効果	明度・彩度・色相に関する心理効果						
第10回	cus配色効果	アンダートーンとは						
第11回	ファッション概論	基本的な配色テクニック						
第12回	プライダルと色彩	ウエディングと配色調和						
第13回	パーソナルカラー	肌色のしくみ						
第14回	パーソナルカラーの特徴	人の特徴によるアンダートーン パーソナルカラー						
第15回	検定対策	パーソナルカラー3級検定試験対策						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員				実務経験紹介	https://www.vic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/			

科目名	着付け・作法	単位数	2	科目コード				
授業形態	実習	対象学生	2年次	開設期	半期			
区分	必須	開設時期	前期	教員実務経験対象	有			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	浴衣の着付けから始め留袖の着付けで練習をしていく。帯結び(お太鼓・飾り結び)が数種できるように実践的な授業。和装の名称を覚える							
授業の一般目標	ブライダルの現場ではお直しや留袖の着付けを求められことも多いが対応することができるようになる。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	1. 授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	1. 接遇に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	1. 日常生活の中で接遇について主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用実践に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容			備 考			
第1週	浴衣を着る①	和室でのあいさつ・着物のたたみ方・名称						
第2週	浴衣を着る②	自分で浴衣を着る練習						
第3週	浴衣を着る③	浴衣の着付け・相モデル						
第4週	浴衣を着る④	自分で浴衣を着る練習・浴衣の着付け・相モデル						
第5週	留袖の名称と下着までの着付け	基本的な着物の着方を学ぶ1回目・着物の名称・末広・襟の合わせ方・肌着・足袋をつける・長襦袢着付け						
第6週	留袖の着付け	長襦袢着付け・留袖着付け(相モデル)						
第7週	留袖の帯結び①	帯結びの基本としてお太鼓の結び方(相モデル)						
第8週	留袖の帯結び②	帯結びの基本としてお太鼓の結び方(相モデル)						
第9週	留袖の帯結び③	帯結びの基本としてお太鼓の結び方(相モデル)						
第10週	付け下げ着付け・帯結び①	二重太鼓変り結び						
第11週	小紋着付け・帯結び②	文庫系飾り結び						
第12週	留袖の着付け(着付けから帯結びまで)	留袖着付け・お太鼓						
第13週	自分で着られる・結べる(浴衣)	着物での立ち振舞いも習得する						
第14週	着てみよう(浴衣)	夏休み0C浴衣ディの日に自分で着る(ヘアアレンジ)						
第15週	時間を測って(留袖)	指導員の指定する時間内に着つけられるようになる						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D :59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員				実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/			

科目名	メイクアップ基礎		単位数	2	科目コード			
授業形態	実習		対象学生	1年次	開設期	半期		
区分	必須		開設時期	前期	教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	<座学>皮膚科学、顔の成り立ち～顔分析、ゴールデンプロポーションについて、色彩学、道具の名称～使いこなしなど <実技>クレンジング～ベースメイク作成、ポイントメイクの楽しさを知る							
授業の一般目標	人の顔に触れることに慣れる。基礎的なメイク理論・技術の修得。お客様に対する気配りや心遣いを学ぶ。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	1. 授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	1. 接遇に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	1. 日常生活の中で接遇について主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用実践に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1週	授業の注意事項 道具の点検 美人ポイントメイク	授業の注意事項 道具の点検 ゴールデンプロポーション セルフメイク						
第2週	道具の置き方 身だしなみ ポイントクレンジング	道具セッティング 身だしなみ スキンケア流れ ウィッグを使ったポイントクレンジング練習						
第3週	全体クレンジング ポイントクレンジング	ウィッグを使った全体とポイントのクレンジング練習						
第4週	ポイントクレンジング乳化	相モデルでクレンジング練習 乳化まで相モデルにて						
第5週	化粧水・ふき取りクレンジング	拭きとりまでを相モデルにて						
第6週	化粧水 ポイントクレンジング(化粧水)	ポイント～ベーススプレッドまで相モデル練習						
第7週	ポイントクレンジング～化粧水	ウィッグを使ってこれまでの復習&採点のポイント						
第8週	ベーススプレッド	コントロールカラー・ファンデーション・コンシーラー						
第9週	ポイント～ベーススプレッド	相モデルでクレンジング～コンシーラーまでメイク						
第10週	スキンケア通し練習	フェイスパウダー・ハイライト・モデリング・ニュアンス						
第11週	クレンジング～スキンケア	相モデルでクレンジング～ベースメイク完成						
第12週	筆記試験対策	教科書説明&問題集						
第13週	筆記試験対策	教科書説明&問題集						
第14週	筆記試験対策	教科書説明&問題集						
第15週	クレンジング～スキンケア	相モデルでクレンジング～ベースメイク完成						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員				実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/			

科目名	ヘアアレンジ		単位数	1	科目コード			
授業形態	実習		対象学生	1年次	開設期	半期		
区分	必須		開設時期		教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	ウィッグ使用の実技中心となる。							
授業の一般目標	就職活動～卒業後の現場でのセルフヘアセット技術の習得。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	1. 授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べる事ができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	1. 接遇に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	1. 日常生活の中で接遇について主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用実践に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題		授 業 内 容			備 考		
第1回	基礎知識		道具類の配布 道具類の種類と使用法・頭部の名称・黒ゴムの前準備					
第2回	身だしなみの為のアップスタイル		・自分で出来るアップスタイル・夜会巻き					
第3回	身だしなみの為のアップスタイル		・自分で出来るアップスタイル・夜会巻き					
第4回	基礎技術 (基礎1)		基礎技術を修得する					
第5回	基礎技術 (基礎2)		・ブラッシング・ピンニング・ホットカーラの巻き方 ・毛髪調整(スタイリング剤の使い方)					
第6回	基礎技術 (基礎3)		・各種タボの作り方・根止め(土台)の作り方 ・ゴムの結び方・逆毛(バックコーミング)の技法					
第7回	基礎技術 (基礎4 一束)		一束にまとめる(・すき毛あり・すき毛なし等)					
第8回	基礎技術 (基礎5 サイド)		サイドのまとめ方(・ひねり上げ・ねじり上げ等)					
第9回	基礎技術 (基礎5 フロント)		フロントのまとめ方(・ボンパドール・各パート分け等)					
第10回	編み込み 基礎技術 やり編む基本法	根元からしつ	基本の毛束の持ち方と指使いを修得 ・表編み・裏編み・ロープ編み・フィッシュボーン					
第11回	編み込み 基礎技術 み込む	基本技法で編	各セクションより髪をすくい取り編み込んでいく ・片側表三つ編み込み・両側表編み込み					
第12回	編み込み 基礎技術 み込む	基本技法で編	各セクションより髪をすくい取り編み込んでいく ・片側裏三つ編み込み・両側裏編み込み					
第13回	アップスタイルの作製		編み込みのアップスタイルの作製					
第14回	アップスタイルの作製		編み込みのアップスタイルの作製					
第15回	期末テスト対策		編み込みを取り入れたオリジナルアップスタイル作製					
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員			実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/				

科目名	ビジネス基礎学		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義		対象学生	1年次	開設期	半期		
区分	選択		開設時期	前期	教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	国語、数学、社会をトータルで学ぶ。							
授業の一般目標	基礎学力をつけ、社会に必要なトータルの学力を身につける。また就職試験の筆記に備える。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	1. 授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	1. 接遇に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	1. 日常生活の中で接遇について主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用実践に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	基礎国語	漢字、敬語など						
第2回	基礎国語	名前の由来						
第3回	基礎国語	文章を組み立てる技術						
第4回	基礎国語	読み取る技術						
第5回	基礎国語	伝える技術						
第6回	基礎数学	平均を出す						
第7回	基礎数学	割引の計算方法						
第8回	基礎数学	見積りの金額からサービス料を算出						
第9回	基礎社会学	授業の進め方について						
第10回	基礎社会学	時事ニュースなど						
第11回	基礎社会学	物の見方、考え方について						
第12回	基礎社会学	今後日本を取り巻く問題について						
第13回	広告研究	写真とITの効果的なPRとは						
第14回	広告研究	デザイン性を兼ね備えた書類の作成方法						
第15回	広告研究	伝える広告の必要性						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員			実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/				

科目名	現代ホテル理論		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義		対象学生	1年次	開設期	半期		
区分	選択		開設時期		教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	ホテルをビジネスモデルとして、運営・経営の仕組みや活動を学びます。講義では、実際のホテルの活動を中心に、収益管理・組織・人材育成・危機管理など、ホテルビジネスを構成する経営の仕組みを、学ぶ。							
授業の一般目標	ホテルのマネジメントに必要な、ホテルの経営形態や、危機管理、マーケティング、メンテナンス、施設管理、人材管理などの知識の習得。ホテル・旅館・レストランの起業、経営のための不動産事業の側面を学び、所有・運営・経営の分離など、外資系ホテルの経営と日経ホテルの経営を比較・分析し、これからのホテル経営の在り方を学ぶ。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. ホテルについて説明する事が出来る							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	1. ホテル以外の業界もマーケティングする事で他業界とホテル業界の違いを理解する事が出来る							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	1. 授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べる事が出来る							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	1. 日常生活の中でホテルについて主体的に考える事が出来る							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用実践に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	ガイダンス	オープニング、授業計画の説明、ホテルについてのディスカッション						
第2回	ホテル業界の現状とホテル産業の展望	現状のホテル業界と今後の展望について学び理解する						
第3回	ホテルの運営・経営形態・運営組織	ホテルの運営・経営形態・運営組織について学び理解する						
第4回	ホテルのリブランドとリノベーション	ホテルのリブランドとリノベーションについて学び理解する						
第5回	ホテル経営における環境への適応と社会的貢献	ホテル経営における環境への適応とは何か、ホテル経営がどのような社会貢献を果たすかを学び理解する						
第6回	ホテルの利益構造と収益管理手法	ホテルの利益構造と収益管理手法を学び理解する						
第7回	部門別の損益管理手法	部門別の損益管理手法について学ぶ。それぞれのセクションでの管理方法を学び理解する						
第8回	施設の維持管理とメンテナンス・清掃	施設の維持管理とメンテナンス・清掃について理解する						
第9回	ホテルの人材マネジメント	ホテルの人材マネジメントと他業種の人材マネジメントの違いについて学び理解する						
第10回	ホテル経営における危機管理戦略	ホテル経営における危機管理戦略について学び理解する						
第11回	日本型の経営理念と外資系ホテルの企業文化	日本型の経営理念と外資系ホテルの企業文化の違いを学ぶ						
第12回	不動産経営とホテル経営とのかかわり①	不動産経営とホテル経営とのかかわり①						
第13回	不動産経営とホテル経営とのかかわり②	不動産経営とホテル経営とのかかわり②						
第14回	ホテルの事業計画①	ホテルの事業計画①						
第15回	ホテルの事業計画②	ホテルの事業計画②						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	喜多村		実務経験紹介	https://www.vic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/kitamura/				

科目名	ブライダルサロン	単位数	2	科目コード				
授業形態	講義	対象学生	1年次	開設期	半期			
区分	選択	開設時期	前期	教員実務経験対象				
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	サロンの運営方法とお客様への接遇をトータルで学ぶ。							
授業の一般目標	サロンで仕事する際に、すぐに働ける新人として実践的な動きが出来る。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	1. 授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	1. 接遇に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	1. 日常生活の中で接遇について主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用実践に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容			備 考			
第1週	ブライダルサロンの仕事とは	ブライダルサロンで行われる仕事オリエンテーション						
第2週	ブライダルサロンの役割	ブライダルサロンで気を付けるべきこと						
第3週	結納申し込み	結納とは？関東式・関西式 お飾りの方法 進行方法						
第4週	新規接客の概要	新規接客の重要性とマーケットにおける新規接客の重要度						
第5週	新規接客のロープレ	新規接客を相モデルでロープレ						
第6週	新規接客で大切なこと	新規接客の方法を知る、案内の要点、ショールーム						
第7週	テーマウエディングとは	テーマウエディングがもたらす業界の変化						
第8週	テーマウエディングの提案方法	テーマウエディングの作成方法						
第9週	新規接客のクロージング	クロージングとは？営業におけるクロージングの手法						
第10週	正式申し込み	成約後の流れを知る。正式申し込みの要点を知る						
第11週	規約の説明	規約とは？婚礼の法令を学ぶ						
第12週	申込金についての注意・領収書・カード決済	申込金の扱い方、申し込み金の決済方法						
第13週	新規接客の流れの再確認	新規接客をトータルに考え、それを体現できる						
第14週	期末試験(ロープレ)	新規のロープレを一人ずつ行う						
第15週	期末試験(ロープレ)	新規のロープレを一人ずつ行う						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	実務経験紹介			https://www.vic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/				

科目名	キャリアデザイン		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義		対象学生	1年次	開設期	半期		
区分	選択		開設時期		教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	各自の就職活動が円滑に進むよう、担当教員がアドバイスなどを適宜行う。エントリーをした企業への履歴書の記入や自己PRなどを具体的に指導する							
授業の一般目標	就職先企業が決まった後も今後仕事が長く出来るように自己研鑽をおこなう。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	1. 授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	1. 接遇に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	1. 日常生活の中で接遇について主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用実践に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題		授 業 内 容			備 考		
第1回	現状の報告・今後の活動予定確認 応募書類・提出書類の書き方		各人が春休み中などに就職活動した事などを含め進捗状況を報告する 履歴書を完成させる。学校への提出書類確認					
第2回	面接DVD		グループディスカッション所作を学ぶ					
第3回	面接DVD		グループ面接所作を学ぶ					
第4回	面接DVD		個人面接所作を学ぶ					
第5回	企業研究・自己分析 模擬面接(グループ面接)		志望先絞込み・自己PR作成・ 模擬面接(グループ)					
第6回	企業研究・志望動機作成 模擬面接(個人面接)		志望先絞込み・志望動機作成・よく出る質問対策 模擬面接(個人)					
第7回	グループディスカッション 小論文・エントリーシート		グループディスカッション 小論文の書き方 エントリーシート作成					
第8回	SPI・筆記対策		SPI・筆記対策					
第9回	グループディスカッション実技Ⅰ (模擬ブライダル)		全員で斬新なアイデアを出し合い、企画する 企画書作成					
第10回	グループディスカッション実技Ⅱ (模擬ブライダル)		全員で斬新なアイデアを出し合い、企画する 企画書作成					
第11回	グループディスカッション実技Ⅲ (模擬ブライダル)		企画書作成 最後に発表					
第12回	企業講話		ブライダル業界の方の講話 業界の方のお話を聴く事で、業界で働く為の意識を高める					
第13回	夏休み中の活動確認		内定の出ている場合は、内定先と他の企業の比較 活動中の場合は、今後の活動予定作成 「報告書」の書き方					
第14回	夏休み中の活動報告		「報告書」を完成させ、発表					
第15回	働く上で必要なスキルを学ぶ		「ビジネスに必要な8つの意識」について考える 今、自分はどの部分が足りないかを検証する					
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員			実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/				

科目名	メイクセラピー	単位数	2	科目コード				
授業形態	実習	対象学生	1年次	開設期	半期			
区分	必須	開設時期		教員実務経験対象				
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	花嫁様の披露宴での心理的なストレスを和らげるメイクセラピーの技術を身につける。							
授業の一般目標	メイクセラピスト2級合格を目指し、セラピストの知識として花嫁様に傾聴・アドバイスができる							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	1. 授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	1. 接遇に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	1. 日常生活の中で接遇について主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用実践に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容			備 考			
第1週	メイクセラピーの意味	オリエンテーション						
第2週	メイクセラピーにおける顔の成り立ち	円心・求心						
第3週	メイクセラピーにおける顔の成り立ち	円心・求心が他人から見た時の印象						
第4週	自分の顔分析	相モデルにて顔の分析						
第5週	アイシャドーなどの使い方	円心・求心をどのように矯正するか						
第6週	カラーが人に与える印象	色の効果や光の効果						
第7週	カラーの効果	カラーが人に与える印象、その使い方						
第8週	印象分析	印象をコントロールし自分のコンプレックスを克服する						
第9週	傾聴の意味	クライアントの話の聴き方。その動作や実際の動き						
第10週	心理学の基本的な知識	罪悪感など人間の心理を学び、クライアントの軽重ができる						
第11週	リップやチーク、アイシャドウの色の持つ効果	リップ・アイシャドー・チークなど色の使い方での印象管理						
第12週	メイク実習	メイクセラピーの実習(メイク)						
第13週	メイク実習	メイクセラピーの実習(メイク)						
第14週	試験直前模試	筆記とメイク実習						
第15週	期末試験	全体の期末試験						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	実務経験紹介			https://www.vic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/				

科目名	BIA検定Ⅲ		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義		対象学生	2年次	開設期	半期		
区分	必須		開設時期		教員実務経験対象	有		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	BIA検定対策授業。アシスタントブライダルコーディネーター検定の対策だけでなく、ブライダル業界やブライダルの定義について理解する。							
授業の一般目標	ブライダルの歴史、欧米との違い、市場の現状と業界の歴史・動向を知る。ブライダル業界の動向や将来性を自ら説明できる。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. ブライダルの歴史、欧米と日本の違いについて説明できる。2. ブライダル業界の各領域の概要と課題を説明できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	1. 授業で取り上げたブライダル関連企業の将来性について自分の意見を論理的に述べるができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	1. ブライダルに関する関心を広げ、業界の問題意識を高めることができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	1. 日常生活の中でブライダルについて主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	Lesson 5 打合せ業務	初回～中間～最終打ち合わせを理解する						
第2回	Lesson 6 コンセプトシートに基づいたブライダルアイテムの選定	コーディネートの考え方、イメージについて理解する						
第3回	Lesson 6 コンセプトシートに基づいたブライダルアイテムの選定	洋装のドレスコード、花嫁のドレスと小物について理解する						
第4回	Lesson 6 コンセプトシートに基づいたブライダルアイテムの選定	和装の基本と花嫁和装、和装小物について理解する						
第5回	Lesson 6 コンセプトシートに基づいたブライダルアイテムの選定	ブーケの由来と歴史、代表的なデザインを理解する						
第6回	Lesson 6 コンセプトシートに基づいたブライダルアイテムの選定	様々なフラワーアイテムと会場装花、両親への花束を理解する						
第7回	Lesson 6 コンセプトシートに基づいたブライダルアイテムの選定	ヘアスタイル、メイクイメージ、ネイルアート、ブライダルエステを理解する						
第8回	Lesson 6 コンセプトシートに基づいたブライダルアイテムの選定	会場コーディネートを理解する。テーマウェディングと会場コーディネートの考え方、会場の種類を学ぶ						
第9回	Lesson 6 コンセプトシートに基づいたブライダルアイテムの選定	テーブルクロスとナブキン、テーブル札、ショープレートを学び、テーブルコーディネートを理解する						
第10回	Lesson 6 コンセプトシートに基づいたブライダルアイテムの選定	ペーパーアイテム、ウェルカムアイテムを理解し、作成できる						
第11回	Lesson 6 コンセプトシートに基づいたブライダルアイテムの選定	料理、飲物について理解する						
第12回	Lesson 6 コンセプトシートに基づいたブライダルアイテムの選定	披露宴の基本演出について理解する						
第13回	Lesson 6 コンセプトシートに基づいたブライダルアイテムの選定	披露宴の演出プランについて理解する						
第14回	Lesson 6 コンセプトシートに基づいたブライダルアイテムの選定	引き出物・引き菓子について理解する						
第15回	Lesson 6 コンセプトシートに基づいたブライダルアイテムの選定	記念・記念アイテムについて理解する						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	実務経験紹介			https://www.vic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/				

科目名	BIA検定Ⅳ		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義		対象学生	2年次	開設期	半期		
区分	必須		開設時期	前期	教員実務経験対象	有		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	BIA検定対策授業。アシスタントブライダルコーディネーター検定の対策だけでなく、ブライダル業界やブライダルの定義について理解する。							
授業の一般目標	ブライダルの歴史、欧米との違い、市場の現状と業界の歴史・動向を知る。ブライダル業界の動向や将来性を自ら説明できる。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. ブライダルの歴史、欧米と日本の違いについて説明できる。2. ブライダル業界の各領域の概要と課題を説明できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	1. 授業で取り上げたブライダル関連企業の将来性について自分の意見を論理的に述べることができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	1. ブライダルに関する関心を広げ、業界の問題意識を高めることができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	1. 日常生活の中でブライダルについて主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	Lesson 7 手配業務	ペーパーアイテムの手配について理解する。招待状・席札・メニュー表、パンフレット						
第2回	Lesson 7 手配業務	衣装、ヘアメイク、着付けの手配について理解する。手配のスケジュールと注意点						
第3回	Lesson 7 手配業務	挙式、披露宴の演出手配について理解する						
第4回	Lesson 7 手配業務	引出物・引菓子の手配について理解する						
第5回	Lesson 7 手配業務	記録・記念アイテムの手配について理解する						
第6回	Lesson 7 手配業務	装花の手配について理解する						
第7回	Lesson 8 当日業務	結婚式・披露宴当日のコーディネーターの役割について理解する						
第8回	Lesson 8 当日業務	挙式・披露宴の進行表を作成方法を理解する						
第9回	Lesson 8 当日業務	当日のアテンドについて理解する						
第10回	Lesson 8 当日業務	テーブルセッティング テーブルクロス・プレート・カトラリーの種類と取り扱いについて理解する						
第11回	Lesson 8 当日業務	グラス・ナプキン・テーブルセッティングの種類と取り扱いについて理解する						
第12回	Lesson 8 当日業務	当日のサービス業務について理解する						
第13回	Lesson 8 当日業務	花の管理と出回り時期について理解する						
第14回	検定対策 過去問題の実施	過去問題の実施						
第15回	期末試験の実施	期末試験の実施						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	実務経験紹介			https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/				

科目名	ABC検定Ⅱ		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義		対象学生	2年次	開設期	半期		
区分	必須		開設時期		教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	ブライダル業界の実務部分を学習する。実際の業務に求められる能力を高めアシスタントブライダルプランナーの資格を得る。実務実践としてプランニングシートを作成する。							
授業の一般目標	基本的なプランニングシートの作成。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)	ABCブライダルテキスト							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. ブライダルの歴史、欧米と日本の違いについて説明できる。2. ブライダル業界の各領域の概要と課題を説明できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	1. 授業で取り上げたブライダル関連企業の将来性について自分の意見を論理的に述べることができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	1. ブライダルに関する関心を広げ、業界の問題意識を高めることができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	1. 日常生活の中でブライダルについて主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	日本版①	確認：日本版について						
第2回	日本版②	1年時に学習した内容の日本版の総復習を行う						
第3回	日本版③	1年時に学習した内容の日本版の総復習を行う						
第4回	日本版④	1年時に学習した内容の日本版の総復習を行う				確認問題		
第5回	実務対策②	打ち合わせ実務について。プランニングシートへの落とし込みを外部業者への発注依頼の注意点						
第6回	欧米編	1年時に学習した欧米版の内容の総復習を行う				確認問題		
第7回	欧米編	1年時に学習した欧米版の内容の総復習を行う						
第8回	検定記述対策	記述問題に対して。いくつかのパターンを事前に記述する						
第9回	重点ポイント	最終確認、各自の課題を克服する						
第10回	検定最終対策	記述問題に対して。いくつかのパターンを事前に記述する						
第11回	直前対策	2・3日後に控えた検定に対して総まとめとピンポイントに絞った						
第12回	テーマより	各自がテーマにそってプランニングシートを作成する。全員で相談しひとつを選び、13・14・15回においてチャペルを演出する						
第13回	テーマに合わせる	テーマにそくしてチャペル実習室を演出する。最終回では発表を実施する						
第14回								
第15回								
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	実務経験紹介		https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/					

科目名	イベントプロデュースⅡ		単位数	4	科目コード			
授業形態	実習		対象学生	2年次	開設期	半期		
区分	必須		開設時期	前期	教員実務経験対象	有		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	ブライダル業務全般を幅広く学び、特に構内で実施するリアルウェディングのカップルを募るためのSNS発信(集客業務)を実際に行う。リアルウェディングにつなげ、より実際に近い婚礼業務を経験し、身に付ける							
授業の一般目標	婚礼現場で実際に行われている集客→新規→施工という一連の流れを学び、プランナーとしてのプロデュース力を身に付ける。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. ブライダル業務全般を説明できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	1. 1. プランニングについて自分の意見を論理的に述べるができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	1. ブライダルに関する関心を広げ、業界の問題意識を高めることができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	1. 日常生活の中でブライダルについて主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	アワード研究	8月のアワードに向け、2月・3月のウェディングの振り返り						
第2回	アワード研究	アワードのDVDなどを参考に傾向を探る						
第3回	アワード研究	リクルート総研から研究員を派遣いただき、アワードのエントリーシートを記入方法を学ぶ						
第4回	アワード研究	エントリーシート作成を一人1枚行う						
第5回	アワード研究	エントリーシートを発表						
第6回	アワードエントリー準備	エントリーシート作成のための構成						
第7回	アワードエントリー準備	エントリーシート作成並びにエントリー写真のセレクトなど						
第8回	アワードエントリー準備	エントリーシート仕上げ						
第9回	アワードエントリーシート仕上げ	エントリーシート仕上げとエントリー						
第10回	アワード視察	アワードに参加し、今のウェディングを体感する						
第11回	アワード視察	アワードに参加し、今のウェディングを体感する						
第12回	アワード視察	アワードに参加し、今のウェディングを体感する						
第13回	アワード視察	アワードに参加し、今のウェディングを体感する						
第14回	アワード振り返る	反省会とアワードの感想を発表する						
第15回	期末試験	アワードについての論文提出						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員				実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/			

科目名	イベントプロデュースⅡ	単位数	1	科目コード				
授業形態	実習	対象学生	2年次	開設期	半期			
区分	必須	開設時期		教員実務経験対象				
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	プライダル業務全般を幅広く学び、特に構内で実施するリアルウェディングのカップルを募るためのSNS発信(集客業務)を実際に行う。リアルウェディングにつなげ、より実際に近い婚礼業務を経験し、身に付ける							
授業の一般目標	婚礼現場で実際に行われている集客→新規→施工という一連の流れを学び、プランナーとしてのプロデュース力を身に付ける。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. レストランサービスについて自分の意見を論理的に述べるができる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	1. 日常生活の中でサービス、ホスピタリティについて主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	1. 日常生活の中でサービス、ホスピタリティについて主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	1. 日常生活の中でサービス、ホスピタリティについて主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容			備 考			
第1回	レストランの基礎知識(1) レストランの組織	レストランでは、様々な役割を持つ人が適切に配置されて、指示・命令系統が明確になるよう組織化されている。各担当の業務内容を理解し、チームワークの大切さを学ぶ						
第2回	レストランの基礎知識(2) 接客の基本	身だしなみ、基本の姿勢と動作、接客用語等、接客するための基本を学ぶ						
第3回	レストランの基礎知識(3) 西洋料理の食器・備品	西洋料理で使用される食器類(銀器類・陶磁器類・グラス類)の取り扱いと管理、カストラリーやリネンなどを学ぶ						
第4回	レストランの基礎知識(4) 西洋料理の食器・備品	フルコースの流れとナイフフォークの並べ方、ナフキンの様々な折り方を学ぶ			確認問題			
第5回	レストランの基礎知識(4) 西洋料理の食器・備品	フルコースの流れとナイフフォークの並べ方、ナフキンの様々な折り方を学ぶ						
第6回	レストランの基礎知識(5)	和食、中華などのサービス内容について学ぶ			確認問題			
第7回	レストランサービスの基本(1) 食前酒・前菜	食前酒の種類、カクテルの基礎知識、前菜の基礎知識とカービングについて学ぶ						
第8回	日本茶検定	2級受験対策授業						
第9回	日本茶検定	2級受験対策授業						
第10回	日本茶検定	2級受験対策授業						
第11回	日本茶検定	2級受験対策授業						
第12回	日本茶検定	2級受験対策授業						
第13回	日本茶検定	2級受験対策授業						
第14回	模擬試験	模擬試験						
第15回	日本茶検定受験	日本茶検定受験						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	実務経験紹介			https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/				

科目名	ビジネススキルアップⅡ		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義		対象学生	2年次	開設期	半期		
区分	必須		開設時期		教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	会社とはどのような組織か、そこで行われている仕事とはどのような内容かを学ぶ。							
授業の一般目標	秘書検定2級の合格。ビジネスパーソンとしての最低限のマナーを身に付ける。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)	秘書検定実問題集2級							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	秘書検定2級合格の知識を習得							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	秘書業務を学んだうえで社会人としてどのように活用できるか判断できる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	ビジネススキルを理解した上で模擬挙式に活用する事が出来る							
<input type="checkbox"/> 態度の観点								
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	秘書検定2級対策	ディスカッションを通してなぜマナーが大切かを学ぶ						
第2回	秘書検定2級対策	相手に好感を持たれるあいさつと豊かな表情づくりを、実践を通して体得する						
第3回	秘書検定2級対策	社会人としてのビジネスマナー (のし袋・上書)						
第4回	秘書検定2級対策	身だしなみについて						
第5回	秘書検定2級対策	気の利いた話しかた、相手に対する気遣いの言葉と行動						
第6回	秘書検定2級対策	秘書業務(上司、外出中の対応)						
第7回	秘書検定2級対策	秘書業務(敬語や言葉の使い方)						
第8回	秘書検定2級対策	敬語の使い方						
第9回	秘書検定2級対策	ビジネス用語の知識						
第10回	秘書検定2級対策	来客応対 受付・接客時の言葉使いなど						
第11回	秘書検定2級対策	訪問時のマナー(車など座席の上座下座や食事のマナー)						
第12回	秘書検定2級対策	慶事、弔辞、会社のパーティなどでの業務						
第13回	秘書検定2級対策	仕事の報告や効率的、合理的な仕事進め方						
第14回	秘書検定2級対策	過去問題と答え合わせ→合計得点で可否の診断						
第15回	秘書検定2級対策	過去問題と答え合わせ→合計得点で可否の診断						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員				実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/			

科目名	ビジネススキルアップⅣ		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義	対象学生	2年次	開設期	半期			
区分	必須	開設時期		教員実務経験対象				
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	ブライダル業界で必要な美しい手書き文字を身につけ、お客様への手紙、商談でのメモなど、字で信頼をしていただけるよう取り組む							
授業の一般目標	硬筆書写3級合格。美しい文字を書く基本を学ぶ。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	1. 授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べる事ができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	1. 美容に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	1. 日常生活の中で美容について主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	オリエンテーション	美しい文字を書く基本を学ぶ。用具、テキスト、ドリルの説明。学習計画の理解						
第2回	硬筆ドリル・理論	文書・漢字の基本的な決まりを理解する						
第3回	硬筆ドリル・理論	文字のはね、はらい、角度を理解する						
第4回	硬筆ドリル・理論	漢字の基本文字を練習						
第5回	硬筆ドリル・理論	漢字の基本文字を練習						
第6回	硬筆ドリル・理論	漢字の基本文字を練習						
第7回	硬筆ドリル・理論	漢字の基本文字を練習						
第8回	硬筆ドリル・理論	漢字の基本文字を練習						
第9回	硬筆ドリル・理論	漢字の基本文字を練習						
第10回	硬筆ドリル・理論	漢字の基本文字を練習						
第11回	硬筆ドリル・理論	漢字の基本文字を練習						
第12回	硬筆ドリル・理論	漢字の基本文字を練習						
第13回	硬筆ドリル・理論	漢字の基本文字を練習						
第14回	過去問題実施 模擬試験の実施①	硬筆書写検定4級受験を想定し模試を実施						
第15回	過去問題実施 模擬試験の実施②	硬筆書写検定4級受験を想定し模試を実施						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員			実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/				

科目名	プレゼンテーション・ディベート学Ⅱ		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義	対象学生	2年次	開設期	半期			
区分	必須	開設時期	前期	教員実務経験対象				
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	プレゼンテーションを行なうために必要な基本的な事柄を学ぶ。プレゼンテーションの意義・目的、内容、進め方、ツールの活用など、基礎を学ぶと同時に、話し方などの口頭表現、身体表現を中心とした演習を行なう。							
授業の一般目標	プレゼンテーション能力の養成・向上を目指して、基本的な知識を修得し、さまざまな場面で自分の考えをしっかりと相手に伝える積極的な意思表示ができるようになる。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	1. 授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	1. 接遇に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	1. 日常生活の中で接遇について主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用実践に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容			備 考			
第1回	プレゼンテーションとは	プレゼンテーションの種類と定義について						
第2回	コミュニケーションとプレゼンテーション	1年後期の振り返り						
第3回	発表したプレゼンのフィードバック	1年後期の授業で発表したプレゼンのフィードバック						
第4回	発表したプレゼンのフィードバック	1年後期の授業で発表したプレゼンのフィードバック						
第5回	再構築したプレゼン作成	フィードバックから、再度構築し、シナリオ作り						
第6回	課題のプレゼンを行う	再構築したプレゼン発表を						
第7回	課題のプレゼンを行う	再構築したプレゼン発表を						
第8回	ディベートとは?	ディベートの考え方、定義						
第9回	ディベートの方法	議論の設定、持論の整理						
第10回	知的基礎体力をつける	知識の収集方法、考え方や話し方						
第11回	ディベート力を生かす	どのような場面で生かせるのか						
第12回	ディベート実習	「今後日本の結婚式は無くなっていく」						
第13回	ディベート実習	「今後日本の結婚式は無くなっていく」						
第14回	ディベート実習	「日本は救急車を有料化するべきである」						
第15回	ディベート実習	「日本は救急車を有料化するべきである」						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員				実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/			

科目名	セールスプロモーション	単位数	1	科目コード				
授業形態	講義	対象学生	2年次	開設期	半期			
区分	必須	開設時期		教員実務経験対象				
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	プランナーにおける新規接客からクロージングまでの流れを知る。数組のカップルを想定し接客ロープレを実施する							
授業の一般目標	プランナーにおける新規接客からクロージングまでの流れを知り、ヒアリング・カンセリング能力の向上を図る。 また、規約内容を理解し、職業観も身に付ける。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	1. 授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	1. 接遇に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	1. 日常生活の中で接遇について主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用実践に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容			備 考			
第1回	ガイダンス	新規接客に必要なこと						
第2回	婚礼セールスの基本	感じの良い挨拶、マナー、名刺の渡し方						
第3回	婚礼ヒアリングシートの内容	カップルの情報をつかむヒアリングシートの見方						
第4回	婚礼成約申し込み書と規約の内容	正式申込書の内容と、規約の内容を知る						
第5回	ウエディング打ち合わせのスケジュール	招待状から当日までの打ち合わせの流れの把握						
第6回	当日のスケジュールを知る	当日の流れを把握						
第7回	婚礼セールスの基本	新規接客の順序 アイスブレイクとは						
第8回	婚礼セールスの基本	ヒアリングとは						
第9回	婚礼セールスの基本	クロージングとは						
第10回	正式申込書の書き方	署名と規約の関係						
第11回	新規接客ロープレ	ロープレ予選						
第12回	新規接客ロープレ	ロープレ準準決勝						
第13回	新規接客ロープレ	ロープレ準決勝						
第14回	新規接客ロープレ	ロープレ決勝						
第15回	まとめ	振り返り						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	実務経験紹介			https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/				

科目名	ブライズメイクヘア		単位数	1	科目コード			
授業形態	実習		対象学生	2年次	開設期	半期		
区分	必須		開設時期		教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	即戦力として活用できる着付けとブライダルメイクヘアを学ぶ。							
授業の一般目標	ブライダルにおけるヘア・メイク・着付けなどの知識や技術を習得する。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	1. 授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	1. 接遇に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	1. 日常生活の中で接遇について主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用実践に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	トータル・ヘアメイク	技術チェック。相モデルで骨格やパーツなどの補正						
第2回	トータル・ヘアメイク	相モデル30分フルメイク カウンセリングとアップスタイル2パターン						
第3回	トータル・ヘアメイク	相モデル30分フルメイク 和装と洋装のメイクの違い						
第4回	トータル・ヘアメイク	相モデルで、前回とは違うペアーで、オーダー通りにヘアメイクを仕上げる						
第5回	トータル・ヘアメイク	相モデルで、前回とは違うペアーで、オーダー通りにヘアメイクを仕上げる アテンドの知識						
第6回	トータル・ヘアメイク	相モデルで、前回とは違うペアーで、花嫁の特殊なオーダー通りにヘアメイクを仕上げる						
第7回	トータル・ヘアメイク	相モデルで、洋装→和装のヘアメイクのクイックチェンジを行う						
第8回	トータル・ヘアメイク	相モデルで、洋装→和装のヘアメイクのクイックチェンジを行う						
第9回	トータル・ヘアメイク	相モデルで、洋装→和装のヘアメイクのクイックチェンジを行う						
第10回	トータル・ヘアメイク	相モデルで、洋装→和装のヘアメイクのクイックチェンジを行う						
第11回	トータル・ヘアメイク	相モデルで、洋装→和装のヘアメイクのクイックチェンジを行う						
第12回	トータル・ヘアメイク	相モデルで、洋装→和装のヘアメイクのクイックチェンジを行う						
第13回	トータル・ヘアメイク	オープンキャンパスにて発表会実施						
第14回	トータル・ヘアメイク	作品制作						
第15回	トータル・ヘアメイク	作品制作						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D :59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員			実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/				

科目名	ネイル基礎		単位数	2	科目コード			
授業形態	実習		対象学生	2年次	開設期	半期		
区分	必須		開設時期		教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	ネイル基礎知識・ネイルケア・カラーリング・検定アート 検定3級対策							
授業の一般目標	ベーシックなネイルの技能と知識の基礎を習得 JNECネイリスト技能検定3級受験							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)	JNAテクニカルシステム(ベーシック)							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	1. 授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	1. 接遇に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	1. 日常生活の中で接遇について主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用実践に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題		授 業 内 容			備 考		
第1週	初回授業説明 理論		教材配布・検品・テーブルセッティング ネイル概論					
第2週	ネイルケア基礎		消毒・ファイル・キューティクルクリーン ネイル概論					
第3週	ネイルケア基礎		消毒・ファイル・キューティクルクリーン ネイル概論					
第4週	ネイルケア基礎		消毒・ファイル・キューティクルクリーン ネイル概論					
第5週	ネイルケア基礎		ネイルケア・カラーリング・カラーオフ ネイル概論					
第6週	ネイルケア基礎		ネイルケア・カラーリング・カラーオフ 小テスト					
第7週	ネイルケア基礎		ネイルアート					
第8週	ネイルケア基礎		ネイルケア・カラーリング・カラーオフ ネイル概論					
第9週	ネイルケア基礎		ネイルアート					
第10週	検定対策		3級対策					
第11週	検定対策		3級対策					
第12週	ネイルアート		ネイルアート					
第13週			ネイルアート					
第14週			ネイルアート					
第15週			ネイルアート					
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員			実務経験紹介	https://www.vic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/				

科目名	マナープロトコール		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義		対象学生	2年次	開設期	半期		
区分	選択		開設時期	前期	教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	美しい所作を身に付けると同時にお客様へのおもてなしを体現できる人間になる。							
授業の一般目標	立ち方・座り方・食事のマナーを知る。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	1. 授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	1. 接遇に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	1. 日常生活の中で接遇について主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用実践に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	オリエンテーション 主語と述語を近づける、相手を敬う表現を正しく使う	本科目の学習目標を知る 明快で尊敬語・謙譲語・丁寧語を正しく使用した文章を作成する						
第2回	修飾・被修飾関係をはっきりさせる・適切な指示代名詞を使う	情景や細やかな心情を表現するために必要な修飾語表現を学ぶ						
第3回	効果的に接続詞を使う・語尾を統一する	適切に接続詞を入れることで、文と文をつないで、文章を整理し読みやすくする						
第4回	一文を短くする・一文には1つの事柄だけを入れる	要領を得た、わかりやすい文章にするために、短い文章を作成する						
第5回	助詞「の」の連続使用は2回までにする・二重否定を避ける	単調な、またあいまいな印象を与える言葉の重複使用を避ける						
第6回	事実と推測を区別する	事実と推測を区別することで読み手の誤解を防ぐ						
第7回	理解しやすい構成にする	読み手が即座に全体像を把握できる構成にする						
第8回	国際プロトコールの基本	国際化社会において必要とされる、外交上のマナーやしきたりを学ぶ						
第9回	食事のマナー	各国料理のテーブルマナーについて学ぶ						
第10回	冠婚葬祭と贈答のマナー	日本の、特に葬しきたりと贈り物・お返しのルールを学ぶ						
第11回	社会人に必要なマナー振り返り	他科目で修得した社会人として必要なマナーについて、マナー・プロトコール検定試験前に振り返る						
第12回	論理的な文書をつくる(1) 企画書	簡潔でわかりやすいビジネスEメールを書くコツを学ぶ						
第13回	論理的な文書をつくる(2) メール文	簡潔でわかりやすいビジネスEメールを書くコツを学ぶ						
第14回	論理的な文書をつくる(3) 議事録	情報共有を目的とした議事録において必要な要素を学ぶ						
第15回	まとめ							
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員				実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/			

科目名	ビジネス電話応対		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義		対象学生	2年次	開設期	半期		
区分	選択		開設時期	前期	教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	ビジネス電話応対電話基礎日級の試験対策、ビジネス電話の常識を理解し、社会に出て恥ずかしくない電話応対を学ぶ							
授業の一般目標	社会で通用するビジネスの電話力を身に付ける。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	1. 授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	1. 接遇に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	1. 日常生活の中で接遇について主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用実践に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	理論	ビジネス電話と一般の電話の違い						
第2回	理論	ビジネス電話を受けるとき、かけるときの5W1H						
第3回	理論	メモの残し方、話方について						
第4回	理論	感じの良い電話応対とは						
第5回	理論	電話応対時のケース練習						
第6回	実技	留守電や外出時の電話のかけ方						
第7回	実技	ビジネス敬語を把握し、電話にて敬語を使う意味を知る						
第8回	実技	気の利いた電話の対応						
第9回	実技	声の明るさと電話の印象を考える						
第10回	過去問題	検定の過去問題に取り組み合格に向け、模試を行う						
第11回	過去問題	検定の過去問題に取り組み合格に向け、模試を行う						
第12回	過去問題	検定の過去問題に取り組み合格に向け、模試を行う						
第13回	過去問題	検定の過去問題に取り組み合格に向け、模試を行う						
第14回	クレーム電話	ビジネス電話のクレーム事例						
第15回	まとめ	検定の振り返り						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	実務経験紹介			https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/				

科目名	サロン管理実習	単位数	2	科目コード				
授業形態	講義	対象学生	2年次	開設期	半期			
区分	選択	開設時期	前期	教員実務経験対象				
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	ブライダルサロンの運営を実際に行い、広告を学ぶ。							
授業の一般目標	ブライダル営業について理解を深め、新規営業が出来るようにする。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	1. 授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	1. 接遇に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	1. 日常生活の中で接遇について主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用実践に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容			備 考			
第1週	オリエンテーション	サロンの実際						
第2週	リアルウェディングについて	リアルウェディングの広告						
第3週	サロン見学実施							
第4週								
第5週								
第6週								
第7週	ブライダルサロン運営法	リアルウェディングのサロン運営						
第8週	サロン運営と新規の関係	新規接客とは？						
第9週	ブライダルプランナーの心構え	プランナーとは？必要なスキル						
第10週	新規営業の実際	新規接客の実際を学びロープレを行う						
第11週	広告媒体研究	広告を研究						
第12週	プランナーの立ち振る舞い	プランナーの立ち振る舞いロープレ実践						
第13週	パンフレットの扱い方	婚礼パンフの取り扱い						
第14週	パンフレットの研究	婚礼パンフの研究						
第15週	振り返り	振り返り						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	実務経験紹介			https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/				

科目名	ブライダルアロマ		単位数	1	科目コード			
授業形態	実習		対象学生	2年次	開設期	半期		
区分	必須		開設時期		教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	ブライダルに重要な場の空気・雰囲気香りを香から印象付ける事ができる。							
授業の一般目標	アロマの香りと効果を体系的に理解し、活用できる。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	1. 授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	1. 接遇に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	1. 日常生活の中で接遇について主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用実践に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	ガイダンス	ブライダルにおけるアロマの効用						
第2回	ブライダルアロマの歴史	歴史とその背景						
第3回	ブライダルアロマの基礎知識	取り扱い、保存方法 使用注意						
第4回	アロマが人に与える影響とその扱い	影響を知り、アロマの特性を知る						
第5回	アロマの効用について	ローズマリー、ミントなど						
第6回	アロマの効用について	イランイラン、ジャスミンなど						
第7回	アロマの効用について	ローズ、タイムなど						
第8回	アロマの効用について	ラベンダー、グレープフルーツなど						
第9回	アロマとブライダルサロン	サロンでのアロマの効用、使い方						
第10回	アロマとブライダルサロン	香りが与えるお客様への影響を知り、成約を伸ばす						
第11回	アロマとブライズルーム	当日の花嫁をサポートするアロマとは						
第12回	アロマとブライズルーム	当日の花嫁をサポートするアロマとは						
第13回	アロマとマレージブルー	ウエディングの心配を粉らわせるアロマ						
第14回	アロマ まとめ	まとめ						
第15回	アロマ期末試験	期末試験						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員			実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/				

科目名	ブライダル映像基礎	単位数	1	科目コード				
授業形態	実習	対象学生	2年次	開設期	半期			
区分	必須	開設時期		教員実務経験対象				
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	ブライダルの映像について学び、お客様に説明できるレベルになる。							
授業の一般目標	ウェディングシーンにおける映像の作成やその効果、動画などを利用した演出などを学ぶ。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	1. 授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	1. 接遇に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	1. 日常生活の中で接遇について主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用実践に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容			備 考			
第1回	映像とブライダル	ブライダル現場で使用される映像とは						
第2回	映像の役割	映像がもたらす効果						
第3回	写真とブライダル	ブライダル現場で使用される写真とは						
第4回	写真の役割	ブライダル現場でのフォトウエディングとは						
第5回	ブライダル広告と映像	広告と映像、写真の効果						
第6回	ブライダル広告と写真	広告と映像、写真の効果						
第7回	パソコンを使った写真加工法	パソコンのソフトを使用した写真加工						
第8回	パソコンを使った写真加工法	パソコンのソフトを使用した写真加工						
第9回	ブライダルフォトの実際	フォトウエディングの実際						
第10回	ブライダルフォトの種類	フォトウエディングの実際						
第11回	京都のロケーション撮影	京都のロケーション撮影について						
第12回	インスタについて	インスタの効果、ブライダルとインスタ						
第13回	映像の効果	映像がもたらす効果 U t u b eとウエディング						
第14回	なぜ映像が必要なのか	映像が必要な場面と、その効果						
第15回	期末試験	期末試験						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員				実務経験紹介	https://www.vic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/			

科目名	イラストデッサン		単位数	1	科目コード			
授業形態	実習		対象学生	2年次	開設期	半期		
区分	必須		開設時期		教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	鉛筆の削り方・持ち方・描き方・構図などのデッサンの基本を習得し、人の顔やスタイルなどスケッチ的なスタイル画へ発展させる。イラストやデザインなど表現・提案するための基礎を学ぶ。							
授業の一般目標	イメージを可視化し提案する基礎技術を習得する。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	1. 授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	1. 接遇に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	1. 日常生活の中で接遇について主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用実践に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	イラスト基礎	イラストの基本と使用する道具						
第2回	人物を描く	男性						
第3回	人物を描く	女性						
第4回	ドレスを描く	ウエディングドレス						
第5回	ドレスを描く	カラードレス						
第6回	タキシードを描く	タキシード、フロックコートなど						
第7回	タキシードを描く	ベスト、靴、蝶ネクタイなど						
第8回	花を描く	1輪の花						
第9回	花を描く	花束						
第10回	花を描く	ブーケ						
第11回	テーブルレイアウト平面	平面のテーブルプラン						
第12回	テーブルレイアウト平面	立体のテーブルプラン						
第13回	会場のイメージ画	会場のイメージ						
第14回	会場のイメージ画	全体のイメージ画						
第15回	期末試験	期末試験						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	実務経験紹介			https://www.vic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/				

科目名	フラワーコーディネーター		単位数	1	科目コード			
授業形態	実習		対象学生	2年次	開設期	半期		
区分	必須		開設時期		教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格、検定等)	多様化するニーズ。結婚式や披露宴をカラーやフラワーなどをコーディネートするセンスが問われます。1年時に学習したフラワーアレンジの技術をベースにあらにシーンや個性に合わせ提案できる最新のテクニックを学ぶ実践的授業。ほぼ毎回実習を行うため、各自和ばさみ・ハンドタオル・持ち帰り用袋など持参の事。							
授業の一般目標	シーンやドレスに合ったブーケの提案ができる。イメージに合わせたテーブル装花の提案ができ実践的な場所にて生かしていく。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	1. 授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	1. 接遇に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	1. 日常生活の中で接遇について主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用実践に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	卓上装花 (テーブル花① ラウンド)	花の種類・花の水揚げ方法・材料・用具の種類・卓上装花制作実習						
第2回	卓上装花 (テーブル花② ホリゾンタル)	テーブル花の種類・卓上装花の制作実習						
第3回	高砂装花	高砂席の飾り方						
第4回	高砂装花	高砂席の飾り方						
第5回	ヘアオーナメント	ヘアオーナメントの種類・花選び・ワイヤリング・テーピングの手法・ヘアオーナメントの制作実習						
第6回	ケーキ花 (180度のデザイン)	ウェディングに必要な装花を学ぶ・ケーキと一体感のあるフラワーアレンジメント実習						
第7回	マイク・受付・リボンワーク	リボンの作り方、						
第8回	ブーケ	ブーケの種類・スタイル・制作方法・ブーケの制作実習						
第9回	ブーケ	ブーケの製作						
第10回	会場装花応用	会場装飾の全てを製作。3パターンの違ったアレンジをつくる。						
第11回	会場装花応用	会場装飾の全てを製作。3パターンの違ったアレンジをつくる。						
第12回	会場装花応用	会場装飾の全てを製作。3パターンの違ったアレンジをつくる。						
第13回	会場装花応用	会場装飾の全てを製作。3パターンの違ったアレンジをつくる。						
第14回	会場装花応用	会場装飾の全てを製作。3パターンの違ったアレンジをつくる。						
第15回	期末試験	期末						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員				実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/			

科目名	ウェディングプランナー演習		単位数	1	科目コード			
授業形態	実習		対象学生	2年次	開設期	半期		
区分	必須		開設時期		教員実務経験対象			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	グッドアワードウェディングの視察・準備、視察の実際。							
授業の一般目標	リアルウェディングの総括とグッドウェディングアワードへのエントリーをすることで実際のプランナースキルを身に付ける。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる。							
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	1. 授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べるができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	1. 接遇に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	1. 日常生活の中で接遇について主体的に考えることができる							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用実践に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	グッドアワードウェディングとは？	ブライダル総研のグッドアワードウェディングについて知る						
第2回	今までの受賞者の映像を視聴	過去受賞者の映像を視聴し、グループで感想をまとめる						
第3回	自分たちのウェディングをエントリーシートに表現	エントリーシートの書き方						
第4回	自分たちのウェディングをエントリーシートに表現	エントリーシートの書き方						
第5回	自分たちのウェディングをエントリーシートに表現	エントリーシートの書き方						
第6回	グッドアワードウェディング視察	8月 1泊2日で東京へ視察。決勝大会を観覧						
第7回	グッドアワードウェディング視察	8月 1泊2日で東京へ視察。決勝大会を観覧						
第8回	グッドアワードウェディング視察	8月 1泊2日で東京へ視察。決勝大会を観覧						
第9回	グッドアワードウェディング視察	8月 1泊2日で東京へ視察。決勝大会を観覧						
第10回	グッドアワードウェディング視察	8月 1泊2日で東京へ視察。決勝大会を観覧						
第11回	グッドアワードウェディング視察	8月 1泊2日で東京へ視察。決勝大会を観覧						
第12回	グッドアワードウェディング視察	8月 1泊2日で東京へ視察。決勝大会を観覧						
第13回	グッドアワードウェディング視察	8月 1泊2日で東京へ視察。決勝大会を観覧						
第14回	グッドアワードウェディング視察	8月 1泊2日で東京へ視察。決勝大会を観覧						
第15回	グッドアワードウェディング視察	8月 1泊2日で東京へ視察。決勝大会を観覧						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	実務経験紹介			https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice				

2019 ブライダル科 シラバス

発行 YIC京都ビューティ専門学校

発行日 2019年4月1日

編集 学校法人京都中央学院

〒600-8236 京都市下京区油小路通塩小路下る西油小路町 27 番地

TEL 075-371-4040 FAX 075-343-3821

本便覧の複写および無断転載を禁ずる。